

消 防 年 報

令 和 7 年



三郷市消防本部

令和 8 年度 刊行

三郷市消防本部

“市民の安全と安心をめざして”

指 針

- 1 時代に対応した人材の育成
- 1 危機管理の徹底
- 1 防火対象物及び住宅の安全対策の徹底
- 1 応急手当の普及推進
- 1 安全及び健康管理の推進

はしがき

この統計は、三郷市の消防現勢及び令和7年の消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するため編集したものです。

なお、編集については次の区分で作成しております。

編 集 内 容	
市 及 び 消 防 の 概 要	令和8年4月1日現在
組 織 ・ 施 設 に 関 す る 事 項	
予 算 ・ 決 算 に 関 す る 事 項	令和7年度又は 令和8年3月31日現在
予 防 に 関 す る 事 項	
火 災 に 関 す る 事 項	令和7年
救 急 に 関 す る 事 項	
救 助 に 関 す る 事 項	
その他（気象・119番受信状況）	

三 郷 市 民 憲 章

(昭和47年5月3日制定)

水とみどりの美しい自然につつまれたわたくしたちのまち三郷は、新しい時代のいぶきをうけて、近代都市をめざして躍進をつづけております。

わたくしたちは、このまちを明るく健康で、住みよいまちとするために、全市民の願いをこめて、この市民憲章を定めます。

- 1 環境をととのえ、川や道路をきれいにし、花とみどりを愛して、美しいまちをつくりましょう。
- 1 老人やこどもをいたわり、おたがいに人格を尊重し、しあわせな家庭、豊かな都市をつくりましょう。
- 1 教養を高め文化の向上をはかり、若い力を伸ばして明るい社会をつくりましょう。
- 1 スポーツを愛し、自然に親しみ、健康で住みよい郷土をつくりましょう。
- 1 すべてのきまりを守り、交通災害や暴力のない平和な三郷をつくりましょう。

目 次

ひと目でわかる三郷消防

三郷市消防本部の管轄図

1 三郷市の概要

- (1) 地勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 人口と世帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 消防の概要

- (1) 三郷消防の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～9
- (2) 機構図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (3) 庁舎等の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (4) 消防のしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (5) 市一般会計と消防費・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (6) 消防本部・消防署事務分掌・・・・・・・・・・ 13～15

総 務

1 職員

- (1) 条例定数と消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (2) 所属別消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (3) 勤続年数別消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (4) 年齢別消防職員数・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- (5) 教育訓練の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- (6) 職員の各種資格取得状況・・・・・・・・・・ 21

警 防

1 水利

- (1) 消防水利設置状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (2) 消防水利状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

2 消防本部・署車両の配置状況・・・・・・・・・・ 23

3 消防用機械器具保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

4 消防相互応援協定・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

指 令

1 指令	
（1）通信設備	2 6
（2）1 1 9 番専用電話等入電件数	2 6
（3）緊急通報専用電話等入電件数	2 7
2 気象観測状況	2 7

予 防

1 防火対象物の数	2 8
2 中高層建築物数	
（1）用途別階層別数	2 9
（2）地区別階層別数	2 9
3 消防同意事務	
（1）申請別建築確認同意事務処理件数	3 0
（2）用途別建築確認同意事務処理件数	3 0
4 消防用設備等の届出状況	3 1
5 火災予防条例等に伴う各種届出状況	3 1
6 危険物施設の数	
（1）施設の種類の施設数	3 2
（2）危険物の種類の施設数	3 3
（3）危険物の貯蔵・取扱い数量別施設数	3 3
（4）地名別危険物施設数	3 4
7 危険物関係事務取扱い件数	3 5
8 液化石油ガス地名別販売事業所数	3 6
9 立入検査実施状況	
（1）防火対象物	3 7
（2）危険物施設	3 7

火 災

解説	3 8～4 0
1 火災の概況（5年間）	4 1
2 火災発生件数の推移（10年間）	4 1

3 今年7年三郷市火災概況

(1) 月別火災概況	4 2
(2) 火災種別発生件数	4 3
(3) 覚知方法別件数	4 3
(4) 管内別火災発生件数	4 3
(5) 地名別火災発生件数	4 3
(6) 出火原因別件数	4 4
(7) 曜日別火災発生件数	4 4
(8) 時間帯別火災発生件数	4 5
(9) 管内別火災発生件数の推移	4 6
(10) 地区別火災発生件数の推移	4 6
4 令和7年の火災概況 (全国)	4 7

救急・救助

1 救急

(1) 救急出場件数の推移	4 8
(2) 救急出場状況	4 9
(3) 地区別救急出場状況	5 0
(4) 署別救急出場状況	5 0
(5) 時間別救急出場件数	5 1
(6) 事故種別年齢区分別搬送人員	5 1
(7) 事故種別傷病程度別搬送人員	5 1
(8) 事故種別不搬送理由別不搬送件数	5 2
(9) 現場到着所要時間別出場件数	5 3
(10) 収容所要時間別搬送人員	5 3
(11) 応急手当講習受講者状況	5 4

2 救助

(1) 救助出動状況	5 5
(2) ドクターヘリ要請件数	5 6
(3) 救急支援出場件数	5 6

消 防 団

1	消防団組織図・・・・・・・・・・・・・・・・	57
2	団員	
(1)	分団別階級別の消防団員数・・・・・・・・	58
(2)	団員1人当たりと市民の割合・・・・・・・・	59
(3)	団員の年齢別・・・・・・・・・・・・・・・・	59
(4)	団員の勤続年数・・・・・・・・・・・・・・・・	60
(5)	団員の退職報償金の額・・・・・・・・・・	60
(6)	団員年額報酬及び出務報酬の額・・・・・・・・	60
3	消防団の装備及び施設	
(1)	分団・班別の消防車両・・・・・・・・・・	61
(2)	分団・班別機械器具置場の概要・・・・・・・・	62
	三郷市消防団機械器具置場配置図・・・・・・・・	63

少年消防クラブ

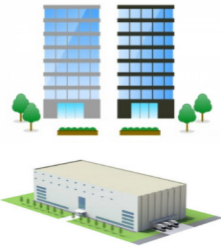
1	少年消防クラブの概要	
(1)	目的・・・・・・・・・・・・・・・・	64
(2)	少年消防クラブの沿革・・・・・・・・	64～66
2	少年消防クラブの団員状況	
(1)	年度別入団員数・・・・・・・・・・・・・・・・	67
(2)	年度別在籍数・・・・・・・・・・・・・・・・	67
(3)	少年消防クラブ員在籍状況・・・・・・・・	67
(4)	小学校別クラブ員在籍状況・・・・・・・・	68
(5)	中学校別クラブ員在籍状況・・・・・・・・	68
(6)	高校生クラブ員在籍状況・・・・・・・・	68
3	令和7年度少年消防クラブの年間活動概要・・・・・・・・	69
	三郷市少年消防クラブ活動風景・・・・・・・・	70

ひと目でわかる三郷消防



市の面積 (令和8年4月1日現在)	人口・世帯数 (令和8年4月1日現在)	消防予算額 (令和8年度当初予算)	消防署所 (令和8年4月1日現在)	消防職員数 (令和8年4月1日現在)
 30.22 k㎡	 人口 141,746 人 世帯数 69,673 世帯	 1,825,024 千円	 消防本部 1 消防署 1 分署 2	 定数 175 人 実数 172 人 (うち女性職員 10 人) 再任用短時間 3 人

消防車両等の台数 (令和8年4月1日現在)	消防水利 (令和8年4月1日現在)	火災発生件数 (令和7年中)	救急出場件数 (令和7年中)	救助出動件数 (令和7年中)
 ポンプ車 6台 救急車 8台 特殊車両等 14台 (各項非常用車両含む)	 消火栓 1,267 基 防火水槽 146 基	 48 件 建物火災 32 件 車両火災 3 件 その他の火災 13 件	 9,246 件 急病 6,094 件 一般 1,312 件 交通 640 件 その他 1,200 件	 出動件数 101 件 活動件数 67 件 救助人員 52 人

119 番専用入電件数 (令和7年中)	消防団員数・編成 (令和8年4月1日現在)	少年消防クラブ員数 (令和8年4月1日現在)	防火対象物数 (令和8年3月31日現在)	危険物施設数 (令和8年3月31日現在)
 合計 13,543 件 固定電話 4,254 件 携帯電話 8,091 件 その他 1,198 件	 定数 360 人 実数 282 人 編成 7 分団 24 班	 合計 116 人 小学生 35 人 中学生 60 人 高校生 21 人	 3,634 棟 ※延面積 150 ㎡以上	 231 施設 製造所 2 施設 貯蔵所 153 施設 取扱所 76 施設



三郷市消防本部・三郷市消防署



-  消防本部
 消防署
 分署
 無線基地局



1 三郷市の概要

(1) 地 勢

○ 位 置

三郷市は、埼玉県 of 東南部、江戸川と中川に挟まれた沖積低地上に位置し、東側は江戸川を挟んで千葉県の松戸市、流山市、南側は東京都葛飾区、西側は中川を挟んで八潮市、北側は吉川市と接している。

東経 1 3 9 度 5 2 分 2 1 秒、北緯 3 5 度 4 9 分 4 9 秒
東京駅からの直線距離は約 2 0 km
(最近地点 1 5 km・最遠地点 2 4 km)



○ 面 積

3 0 . 2 2 km²

東西の長さ 最長 5 . 6 km 南北の長さ 最長 9 . 5 km

○ 海 抜

東京湾平均海水面より 1 ～3m

地形は、ほとんど高低がなく、北から南に向かってわずかな傾斜をしている。

○ 地 質

関東平野の江戸川及び中川（古利根川）に沿った沖積平野に属し、江戸川対岸の東部は下総台地であるが、当地方の沖積層は、台地を河川が浸食し、奥東京湾を運搬堆積物で埋めながら形成されたもので、上層部は一般に軟弱地盤、深度 30～50 メートル位まで沖積層が続いている。

(2) 人口と世帯

各年 4 月 1 日現在

区 分 年 別	世 帯	人 口		
		計	男	女
令和3年	66,168	142,663	72,246	70,417
令和4年	66,752	142,758	72,084	70,674
令和5年	67,220	142,177	71,692	70,485
令和6年	68,036	141,935	71,586	70,349
令和7年	68,886	142,041	71,536	70,505
令和8年	69,673	141,746	71,402	70,344

2 消防の概要

(1) 三郷消防の沿革

昭和31年	9月	東和村、彦成村、早稲田村の三ヶ村が町村合併促進法により合併し「三郷村」が発足した。
昭和32年	10月	三郷村消防団初代団長に秋本安太郎氏就任
昭和33年	11月	三郷村消防団第2代団長に大山惣次郎氏就任
昭和34年	11月	三郷村消防団第3代団長に加藤巳之吉氏就任
昭和35年	11月	三郷村消防団第4代団長に大山惣次郎氏就任
昭和39年	10月	町制施行により「三郷町」となる。
	〃	消防団3本部22分団となる。
昭和43年	9月	消防庁舎（敷地面積2,648.90㎡・鉄筋コンクリート造2階建・延面積706.975㎡）を大字幸房1155番地に建設着工
昭和44年	1月	三郷町消防本部を大字谷口544番地、三郷町役場内に設置 消防長事務取扱に白石敏夫氏、職員定数15人、指令車1台、化学車1台で発足
	3月	三郷町消防署を大字谷口544番地、三郷町役場内に設置
	〃	初代消防長に大山惣次郎氏就任（初代消防署長兼務）
	〃	消防団第5代団長に岡庭慶太郎氏就任
	〃	消防庁舎落成、消防本部・消防署を大字幸房1155番地に移転
	〃	消防無線基地局1、移動局1、携帯2を開局
	4月	職員定数を30名とする。
	〃	消防団を再編成し、1本部6分団となる。
昭和45年	4月	職員定数を42名とする。
昭和47年	4月	職員定数を55名とする。
	5月	市制施行により「三郷市」となる。
昭和48年	7月	消防長に三郷市長・白石敏夫氏が事務取扱
	〃	消防署長に本部次長・加藤弘氏が兼務
昭和49年	4月	職員定数を60名とする。
昭和50年	1月	第2代消防長に加藤弘氏就任
	2月	署車庫増築（鉄骨スレート造）
	〃	40m級はしご付消防ポンプ自動車（三菱）を署に配置
	4月	職員定数を65名とする。
	12月	三郷市消防署南分遣所（敷地面積1,373.4㎡・鉄骨プレハブ平屋建・延面積284.04㎡）を寄巻231番地に設置
昭和51年	4月	職員定数を100名とする。
	5月	市の機構改革に伴い、消防本部を2課5係に、消防署を3係にする。

昭和52年	2月	消防本部・署の食堂を増改築（29.69㎡）し、延面積736.665㎡となる。
昭和53年	1月	第3代消防署長に鈴木昭治氏就任
	2月	日本消防協会表彰旗を受章
昭和54年	4月	三郷市消防署北分署（敷地面積1,906.50㎡・鉄筋コンクリート造2階建・延面積729.9663㎡）を上彦川戸886番地に設置
	〃	三郷市消防署南分遣所を三郷市消防署南分署とする。
昭和55年	5月	消防本部・署の車庫を増築（44㎡）し、延面積780.665㎡となる。
	7月	消防本部・署改修工事
	12月	屈折はしご付消防ポンプ自動車（15m級）を署に配置
昭和56年	3月	消防庁長官竿頭綬を受章
	4月	職員定数を107名とする。
昭和58年	5月	第3代消防長に小沢源太郎氏が就任
	6月	第4代消防署長に中田満氏が就任
昭和59年	3月	三郷市消防署南分署（敷地面積3,213.72㎡・鉄筋コンクリート造2階建・延面積921.25㎡）を鷹野三丁目474番地に新築
	4月	職員定数を115名とする。
	6月	第4代消防長に中村亨氏が就任
昭和60年	5月	第5代消防署長に鈴木昭治氏が就任
昭和61年	4月	第5代消防長に野本昭治氏が就任
昭和63年	4月	職員定数を120名とする。
平成元年	4月	第6代消防長に稲舩廣穂氏が就任
	〃	消防団第6代団長に恩田博氏が就任
平成3年	4月	職員定数を130名とする。
	8月	（仮称）三郷市消防・防災総合庁舎（敷地面積4,200.03㎡・鉄筋コンクリート造3階建・延面積3,453.59㎡）を幸房1155番地他5筆に建設着工する。
平成5年	3月	三郷市消防・防災総合庁舎が完成する。
	4月	第7代消防長に島根好久氏が就任
	〃	第6代消防署長に島根敏行氏が就任
	〃	消防本部の組織改正を行い「警防課」を新設し、従来の総務課「消防機械係」を警防課「消防係」に改称し、「指令第1係」及び「指令第2係」を新たに設置する。この改正により、3課7係となる。
平成6年	3月	緊急通報システム（福祉）運用開始
	11月	40m級はしご付消防自動車を北分署に更新配置
平成7年	5月	聴覚障がい者用ファックスを導入
平成8年	4月	職員定数を140名とする。

	〃	第7代消防署長に二葉利夫氏が就任
平成9年	3月	消防庁長官表彰旗を受章
	4月	第8代消防長に芝井忠夫氏が就任
平成11年	3月	消防団第7代団長に田中清氏が就任
	4月	第8代消防署長に中田満氏が就任
平成12年	4月	職員定数を150名とする。
	〃	第9代消防長に大場隆雄氏が就任
	〃	消防本部の組織改正を行い「通信指令室」を新設し、指令第1係及び指令第2係の他に「管理係」を新たに設け、3係とする。 また、警防課は消防係の他に「救急救助係」を新たに設け、2係とする。 この改正により、4課（室）9係となる。
	9月	消防団第8代団長に高橋雄行氏が就任
	10月	女性消防団員（7人）の採用「アザレア」と命名
平成13年	10月	南分署一部解体工事（草加三郷線街路整備工事に伴う一部移転）
平成14年	4月	第10代消防長に宮田愛和氏が就任
	〃	第9代消防署長に根岸友一氏が就任
平成15年	3月	南分署区画整理及び建物一部増改築（敷地面積1,642.93㎡・鉄筋コンクリート造2階建・延面積933.77㎡）
	〃	南分署訓練場新設
	10月	アザレア 第16回全国女性消防操法大会出場（優良賞）
	11月	第11代消防長に中田満氏が就任
平成16年	4月	職員定数を165名とする。
	〃	消防本部の組織改正を行う。
		(旧名称) (新名称)
【本 部】	総務課	→消防総務課
	〃 企画係	→消防団係
	予防課 指導係	→予防係
	予防課 安全係	→危険物係
	(旧名称) (新名称)	
	通信指令室	→指令課
	【消 防 署】	・・・課制とし消防1課、消防2課を置く
	【南・北分署】	・・・新たに救急第1係、救急第2係を置く
	〃	第12代消防長に増田吉男氏が就任
平成17年	12月	AED（自動体外式除細動器）を消防署・南北分署に各2台配置
平成18年	3月	災害時用衛星国際携帯電話を本部に配置
	4月	第13代消防長に加藤弘氏が就任
	〃	第10代消防署長に峯岸和夫氏が就任

	1 2 月	救助工作車Ⅱ型を消防署に配置
平成 1 9 年	3 月	消防団第一分団第 4 班機械器具置場を移転し新築
	〃	指揮先行車を南分署に配置
	4 月	第 1 4 代消防長に峯岸和夫氏就任
	〃	第 1 1 代消防署長に鈴木清司氏就任
	〃	簡易型消防緊急通信指令施設運用開始
	6 月	消防団組織改編し、1 本部 6 分団 2 4 班とする。
	1 0 月	A E D（自動体外式除細動器）を 1 台消防本部 2 F 廊下に設置
平成 2 0 年	1 月	災害対応特殊救急車（トヨタ）を北分署に配置
	〃	高規格救急自動車を北分署から消防署に予備車として配置
	2 月	予防 1 号車を本部に配置
	〃	日本消防協会海外消防援助事業に消防自動車 1 台を寄贈
	3 月	日本消防協会竿頭綬を受章
	4 月	消防団に各種災害対応機動車（第一分団第 4 班）及び小型全自動消防ポンプ自動車 2 台を（第五分団第 4 班・第六分団第 1 班）配備
	〃	日本消防協会海外消防援助事業に消防自動車 2 台を寄贈
	7 月	元分団長松井孝司氏より市民貸出用 AED 2 台を寄贈
	8 月	消防団第六分団第 1 班機械器具置場を建替え
	〃	消防団 第 2 5 回埼玉県消防操法大会（小型ポンプの部）出場
平成 2 1 年	1 月	高規格救急自動車（トヨタ）を本署に配置
	3 月	消防団第四分団第 2 班機械器具置場を建替え
	〃	消防ポンプ車を北分署に配置
	〃	各種災害対応機動車を第三分団第 1 班に配備
	4 月	消防団第 9 代団長に本間雄一郎氏が就任
	1 0 月	日本消防協会海外消防援助事業に消防自動車 1 台を寄贈
	1 1 月	元消防署長鈴木昭治氏第 1 3 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
平成 2 2 年	1 月	高規格救急自動車を消防署に配置
	3 月	日本消防協会海外消防援助事業に救急自動車 1 台を寄贈
	〃	小型全自動消防ポンプ自動車 2 台を（第三分団第 2 班・第四分団第 2 班）配備
	〃	総務省消防庁より救助資器材搭載型車両が貸与
	4 月	救助資器材搭載型車両を消防団第四分団第 1 班に配備
	〃	元消防団長高橋雄行氏平成 2 2 年春の叙勲（瑞宝双光章）受章
	5 月	消防団顧問高橋雄行氏より団本部公用車を寄贈
	〃	消防団第六分団第 4 班機械器具置場を建替え
	6 月	団本部公用車を本部に配置
	9 月	第 7 回埼玉県東部地域救急フェスタ開催

	1 1 月	元消防署長二葉利夫氏第 1 5 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	1 2 月	各種災害対応機動車 3 台を（第一分団第 3 班・第五分団第 2 班第六分団第 4 班）配備
	〃	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を消防署に配置
平成 2 3 年	2 月	防災活動車が日本消防協会より寄贈
	3 月	防災活動車を本部に配置
	〃	東北地方太平洋沖地震に伴う三郷市災害医療団派遣（3 月 1 5 日～宮城県石巻市）
	〃	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣（3 月 1 9 日～岩手県陸前高田市）
	4 月	第 1 5 代消防長に安晝和己氏就任
	〃	第 1 2 代消防署長に鈴木敏氏就任
	〃	少年消防クラブ設立（3 2 名）
	〃	消防団第一分団第 2 班機械器具置場を移転し新築
	〃	消防団第五分団第 2 班機械器具置場を建替え
	1 1 月	警防課・指令車を北分署・先行車に配置換え
	〃	元消防署長根岸友一氏第 1 7 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	〃	元消防団副団長石井萬藏氏平成 2 3 年秋の叙勲（瑞宝単光章）受章
平成 2 4 年	3 月	消防ポンプ車を南分署に配置
	〃	小型動力ポンプ積載車を南分署と北分署に配置
	〃	小型貨物自動車を消防署に配置
	4 月	第 1 3 代消防署長に南部正彦氏就任
	〃	消防団第五分団第 4 班機械器具置場を建替え
	〃	元消防司令互清次氏第 1 8 回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
	7 月	元消防団副団長石井萬藏氏よりデジタル簡易無線機 2 6 台を寄贈され各班に配備
	1 1 月	三郷市市制施行 4 0 周年特別記念事業「消防フェア」開催
	1 2 月	AED を市内コンビニエンスストア 3 0 店舗に配置
平成 2 5 年	2 月	高規格救急自動車を南分署に配置
	3 月	消防団第五分団第 3 班機械器具置場を移転し新築
	〃	小型全自動消防ポンプ自動車を第二分団第 3 班に配置
	4 月	消防救急デジタル無線施設運用開始
	〃	元消防団分団長島田博司氏平成 2 5 年春の叙勲（瑞宝単光章）受章
	1 1 月	元消防監中田満氏第 2 1 回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
	1 2 月	元消防団分団長島田博司氏よりハンドベルを寄贈
平成 2 6 年	3 月	災害対応特殊救急車（トヨタ）を消防署に配置
	〃	高機能型通信指令システム運用開始

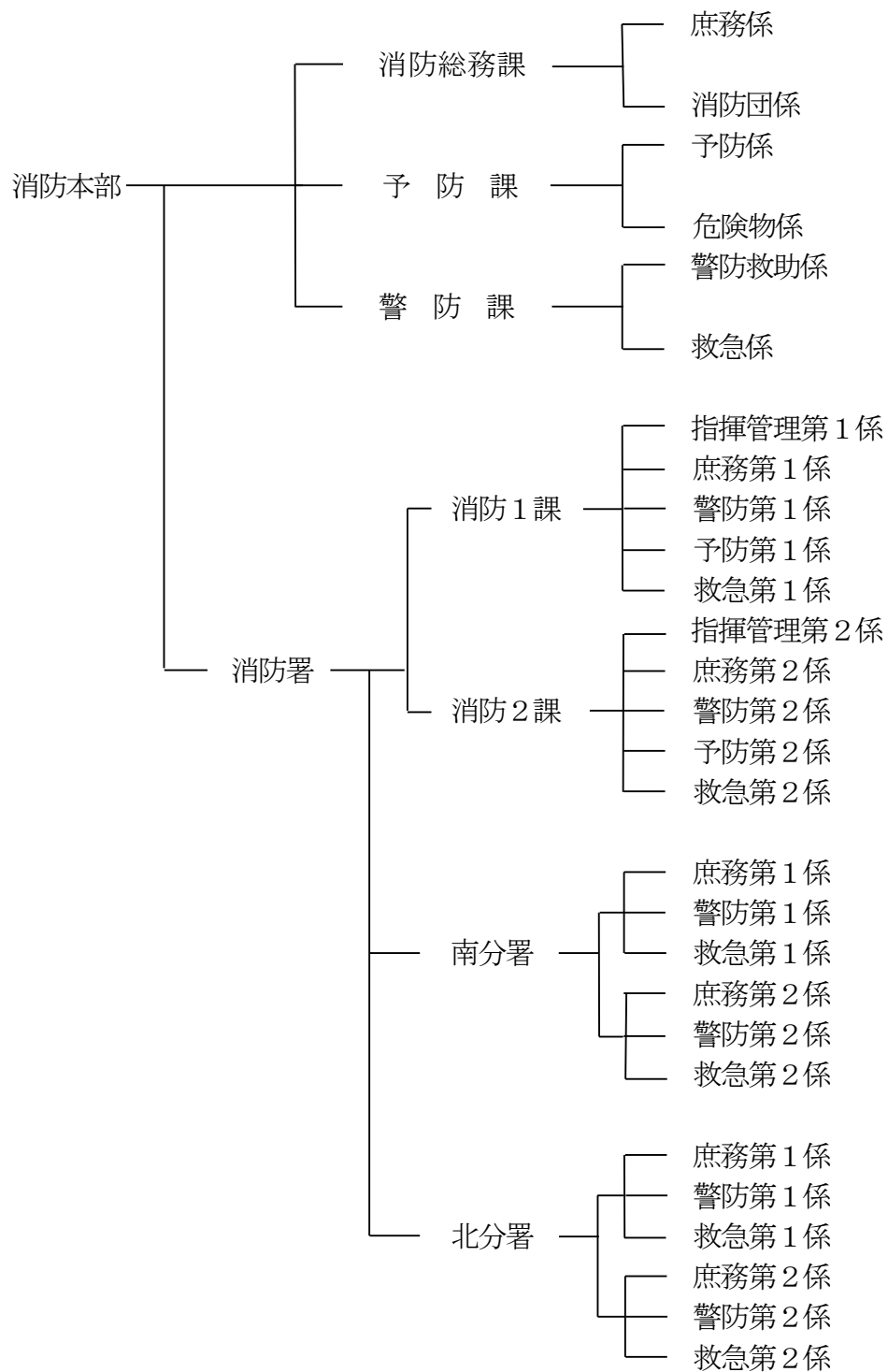
	〃	ネット 1 1 9 運用開始
	4 月	第 1 6 代消防長に南部正彦氏就任
	〃	第 1 4 代消防署長に程田幸治氏就任
	〃	消防団第三分団第 3 班機械器具置場を移転し新築
	〃	三郷市消防団サポーター事業開始
1 1 月		高規格救急自動車を北分署に配置
平成 2 7 年	1 月	三郷中央一体型特定土地区画整理事業に伴う町名地番変更により消防本部・消防署住所が「中央五丁目 4 5 番地 4」へ番地変更
	3 月	消防団第一分団第 3 班機械器具置場を移転し新築
	4 月	元消防署長鈴木清司氏、元消防司令長島根善範氏第 2 4 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	1 1 月	元消防司令長相橋良次氏第 2 5 回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
平成 2 8 年	2 月	4 0 m 級はしご付消防自動車を消防署に更新配置
	〃	各種災害対応機動車 3 台を（第一分団 1 班・第四分団 4 班・第五分団 3 班）配置
	3 月	北分署新築庁舎落成（鉄筋コンクリート造 2 階建・延面積 8 4 3 . 1 5 m ² ） 北分署車庫棟に太陽光発電パネル及び蓄電池設備を設置
	〃	消防団第五分団第 1 班機械器具置場を移転し新築
	〃	総務連絡車を本部に更新配置
	4 月	元消防長峯岸和夫氏第 2 6 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	〃	広報車を本部に更新配置
	8 月	消防団 第 2 9 回埼玉県消防操法大会（小型ポンプの部）出場
	1 1 月	元消防司令長加藤勝氏第 2 7 回危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）受章
	〃	予防 2 号車を本部に更新配置
	1 2 月	埼玉県女性消防団員大会 三郷市で開催
	〃	日本消防協会より消防団防災活動車が寄贈本部に配置
平成 2 9 年	2 月	各種災害対応機動車 2 台を（第二分団 4 班・第五分団 1 班）配置
	3 月	新和エコー（株）からの消防寄付金により消防長公用車を本部に更新配置
	〃	消防団第四分団第 1 班機械器具置場を解体し新築
	4 月	第 1 7 代消防長に野本浩氏就任
	〃	元消防司令長後藤要一氏第 2 8 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
平成 3 0 年	3 月	消防訓練塔（B 塔）完成
	〃	救助隊員認定制度策定
	〃	消防団第二分団第 4 班機械器具置場を解体し新築
	4 月	第 1 5 代消防署長に椎名義明氏就任
	〃	元消防長安晝和己氏第 3 0 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	1 1 月	元消防署長鈴木敏氏第 3 1 回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章

平成31年	1月	常備消防発足50周年
	2月	高規格救急自動車を消防署に更新配置
	〃	消防訓練塔（A・C塔）完成
	3月	消防団第二分団第3班機械器具置場を解体し新築
	〃	三郷市消防本部発足50周年記念誌発刊
令和元年	4月	第16代消防署長に山本隆氏就任
	7月	三郷市消防本部・消防署発足50周年記念式典挙行
	11月	アザレア分団 第24回全国女性消防操法大会出場 優秀賞受賞（第5位）
令和2年	3月	消防団第六分団第2班機械器具置場を解体し新築
	〃	小型全自動消防ポンプ自動車を第一分団第2班に配備
	4月	化学車を消防署に更新配置
	〃	第18代消防長に浅香一雄氏就任
	〃	第17代消防署長に矢口嘉伸氏就任
令和3年	10月	三郷市防火安全協会から発足50周年記念事業によりハイエース（14人乗り）を寄贈
	11月	元消防団副分団長増田平氏令和2年秋の叙勲（瑞宝単光章）受章
	1月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため出初式中止
	3月	災害対応特殊救急自動車を北分署に更新配置
	〃	各種災害対応機動車2台を（第三分団第4班と第六分団第2班）配置
	4月	第18代消防署長に小林良浩氏就任
	〃	消防団第10代団長に島根東也氏が就任
	〃	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を南分署に更新配置
	10月	北先行車北分署に更新配置
	11月	元消防団長本間雄一郎氏令和3年秋の叙勲（瑞宝双光章）受章
令和4年	2月	消防団第三分団第4班機械器具置場を移転し新築
	3月	消防団顧問本間雄一郎氏より消防団ヘウレタンボート4艇を寄贈
	4月	職員定数を175名とする。
	〃	救助工作車Ⅱ型を消防署に更新配置
	〃	元消防長南部正彦氏第38回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	8月	三郷市消防団第33回埼玉県消防操法大会出場 優勝
	10月	三郷市消防団第29回全国消防操法大会出場（千葉県）
	11月	元消防署長程田幸治氏第39回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
令和5年	1月	日本消防協会より防災活動車Ⅱが寄贈南分署に配置
	2月	災害対応特殊救急自動車を南分署に更新配置
	3月	指揮車消防署に更新配置
	〃	消防団第六分団第3班機械器具置場を移転し新築
	4月	第19代消防長に山本浩文氏就任

	〃	高機能消防指令システム部分更新
	〃	元消防司令長戸井田稔氏第40回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	5月	東埼玉消防指令業務共同運用協議会設置
令和6年	11月	元消防司令長豊田克美氏第41回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	4月	元消防長野本浩氏第42回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	7月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を北分署に更新配置
	11月	元消防署長椎名義明氏第43回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章
	〃	元消防団副団長石出忠正氏令和6年秋の叙勲（瑞宝単光章）受章
令和7年	3月	消防団第四分団第3班機械器具置場を新築
	〃	元消防団副団長石出忠正氏より消防団ヘウレタンボート2艇を寄贈
	〃	災害対応特殊救急自動車を消防署に更新配置
	〃	災害対応特殊救急自動車を北分署に更新配置
令和8年	1月	119番通報受信場所を東埼玉消防指令センターに切替え
	3月	東埼玉消防指令センター開所式
	4月	第20代消防長に三浦徹氏就任
	〃	第19代消防署長に馬場利夫氏就任
	〃	消防本部・消防署の組織改正を行い、「指令課」を廃課、警防課「消防係」を「警防救助係」、「救急救助係」を「救急係」にそれぞれ改称し、消防署消防1課及び消防2課にそれぞれ「指揮管理第1係」、「指揮管理第2係」を新たに設置する。この改正により、消防本部は3課6係、消防署は4課22係となる。
	〃	東埼玉消防指令センター正式運用開始
	〃	元消防署長矢口嘉伸氏第46回危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）受章

(2) 機構図

令和8年4月1日現在



(3) 庁舎等の概要

【消防本部・消防署】

所在地 三郷市中央五丁目45番地4
 電話 048-952-1211
 竣工年月 平成5年3月
 構造 鉄筋コンクリート造3階建
 建築面積 1,278.50㎡
 延面積 3,453.59㎡
 敷地面積 4,003.64㎡



【訓練塔】

所在地 三郷市中央五丁目44番地11

	A塔	B塔	C塔
竣工年月	平成31年2月	平成30年3月	平成31年2月
構造	鉄骨造2階建	鉄骨造4階建	鉄骨造平屋建
建築面積	14.25㎡	186.61㎡	67.9㎡
延面積	28.50㎡	430.17㎡	67.9㎡

敷地面積 2,878.33㎡



【南分署】

所在地 三郷市鷹野三丁目474番地
 電話 048-955-0911
 竣工年月 昭和59年3月
 構造 鉄筋コンクリート造2階建
 建築面積 670.46㎡
 延面積 933.77㎡
 敷地面積 1,642.93㎡



【北分署】

所在地 三郷市上彦川戸886番地
 電話 048-952-2291
 竣工年月 平成28年3月
 構造 鉄筋コンクリート造2階建
 建築面積 648.89㎡
 延面積 843.15㎡
 敷地面積 1,805.79㎡



(4) 消防のしくみ

消防本部には消防総務課、予防課、警防課の3課があり、消防総務課では、人事、予算、庶務等の消防組織そのものを維持するために必要な事務や、消防の運営の企画統制などの事務を行っています。予防課では危険物、防火管理、消防用設備、火災調査などの事務を行っています。警防課では、消火栓・防火水槽の設置及び維持管理、消防車両の整備及び維持管理、応急手当の普及推進、緊急消防援助隊や応援協定事務、また、通信指令業務は、近隣4消防本部と共同で東埼玉消防指令センターの運用を開始しました。

消防署は、中央地区の中央五丁目に位置し、南部地区の鷹野三丁目に南分署、北部地区の上彦川戸に北分署があります。消防は、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としております。

消防団は、郷土愛護の精神に基づき有志により組織され、市内に第一分団から第六分団まであり、団員は日常、各自の職業に従事しながら（非常勤で）災害の発生時等、その都度招集されて消防活動（主として、火災の警戒及び鎮圧、その他災害の防除及び被害の軽減など）を行っています。

また、消防団本部には、女性団員で構成されたアザレア分団があり、市内全域の救急救命室や火災予防の啓発活動を行っています。

(5) 市一般会計と消防費（5ヵ年）

（単位：千円）

区分 年度	市一般会計	消防費	比率	消 防 費 の 内 訳		
				常備消防費	非常備消防費	消防施設費
令和4年度	59,840,113	1,570,650	2.7	1,482,728	96,950	80,146
令和5年度	58,928,513	1,659,824	2.8	1,350,601	61,246	31,698
令和6年度	61,381,618	1,674,150	2.7	1,418,509	87,011	168,629
令和7年度	62,500,000	2,183,783	3.5	2,045,616	107,775	30,392
令和8年度	61,750,000	1,825,024	3.0	1,606,224	106,965	111,835

（注）・令和4年度～令和7年度は決算額

・令和8年度は当初予算額

(6) 消防本部・消防署事務分掌

消防本部

消防総務課 (*主管課)	庶務係	(1) 公印の保管、文書の収受、発送及び保存に関する事。 (2) 職員の任用、服務、規律及び表彰に関する事。 (3) 職員の人事に関する事。 (4) 職員の教養に関する事。 (5) 職員の福利厚生に関する事。 (6) 予算及び決算に関する事。 (7) 職員の給与品及び貸与品に関する事。 (8) 庁舎及び施設の維持管理に関する事。 (9) 消防委員会に関する事。 (10) 消防諸制度の企画及び調査に関する事。 (11) 消防関係例規の審査及び制定改廃に関する事。 (12) 消防統計及び広報に関する事。 (13) 消防施設の補助及び起債に関する事。 (14) 主要事業計画の策定及び調整に関する事。 (15) 消防職員委員会に関する事。 (16) 衛生委員会に関する事。 (17) 東埼玉消防指令業務共同運用協議会の総務関係調整会議に関する事。 (18) 課の庶務に関する事。
	消防団係	(1) 消防団に関する事。 (2) 少年消防クラブに関する事。 (3) 消防協会に関する事。 (4) 消防団車両の安全運転管理に関する事。 (5) 消防団車両、機械器具の整備及び管理に関する事。 (6) 消防団車両の設計及び仕様に関する事。 (7) 消防機器の製作及び改良に関する事。
予防課	予防係	(1) 火災予防に関する事。 (2) 防災管理者及び防火管理者に関する事。 (3) 建築確認の同意に関する事。 (4) 消防用設備に関する事。 (5) 防火対象物の査察及び指導に関する事。 (6) 違反防火対象物の処理に関する事。 (7) 火災による災証明に関する事。 (8) 火災の原因及び損害の調査に関する事。 (9) 火薬類の取締に関する事。 (10) 課の庶務に関する事。
	危険物係	(1) 危険物製造所等の許認可に関する事。 (2) 違反危険物製造所等の処理に関する事。 (3) 危険物製造所等の査察及び指導に関する事。 (4) 危険物取扱者に関する事。 (5) 液化石油ガスに関する事。 (6) 火災の原因の調査に関する事。 (7) 防火協力団体に関する事。 (8) その他危険物に関する事。

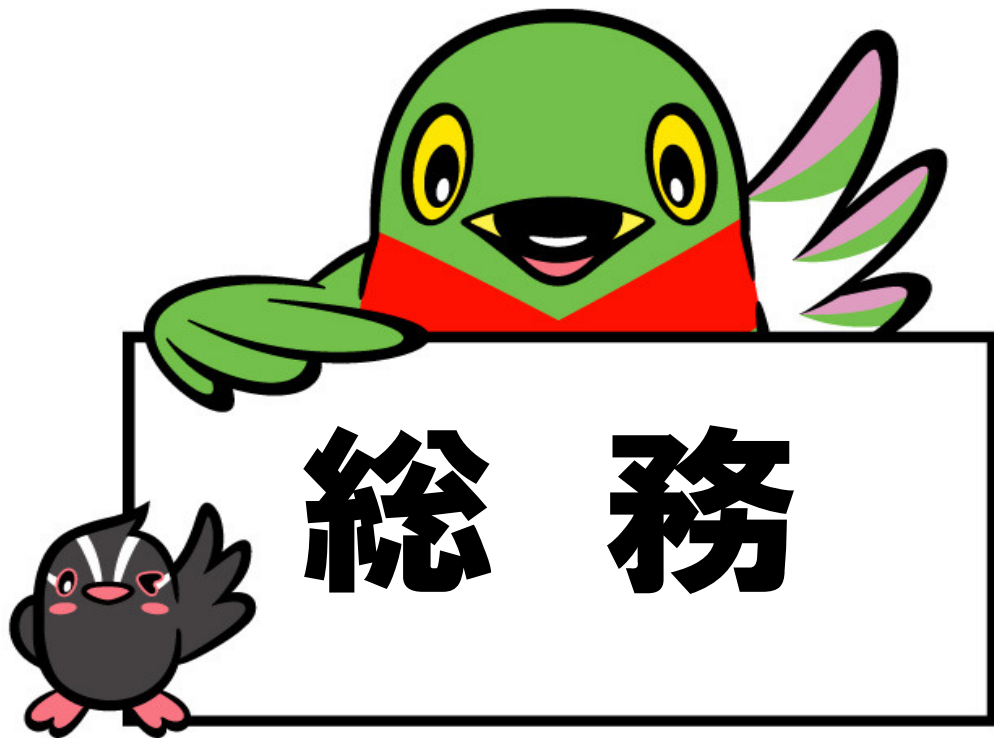
警 防 課	警 防 救 助 係	(1) 警防計画に関すること。 (2) 特殊災害に関すること。 (3) 消防の訓練の企画、立案及び実施に関すること。 (4) 災害活動技術の調査、研究及び指導に関すること。 (5) 消防相互応援及び広域応援に関すること。 (6) 消防水利施設に関すること。 (7) 車両の安全運転管理に関すること。 (8) 消防車両、機械器具の整備及び管理に関すること。 (9) 消防車両の設計及び仕様に関すること。 (10) 消防機器の製作及び改良に関すること。 (11) 救助業務に係る調査研究に関すること。 (12) 救助訓練の企画、立案及び実施に関すること。 (13) 救助隊員の教育訓練及び指導に関すること。 (14) 救助統計に関すること。 (15) 救助資器材の整備に関すること。 (16) その他救助業務に関すること。 (17) 現場の安全管理に関すること。 (18) 火災警報等の発令に関すること。 (19) 東埼玉消防指令業務共同運用協議会の共同運用調整会議に関すること。 (20) 課の庶務に関すること。
	救 急 係	(1) 救急に係る調査研究に関すること。 (2) 救急訓練の企画、立案及び実施に関すること。 (3) 救急隊員の教育訓練及び指導に関すること。 (4) 救急業務高度化事業の推進に関すること。 (5) メディカルコントロール協議会に関すること。 (6) 救急統計に関すること。 (7) 救急関係機関との連絡調整に関すること。 (8) 応急手当及びAED(自動体外式除細動器)の普及推進に関すること。 (9) 救急資器材の整備に関すること。 (10) その他救急業務に関すること。

*主管課においては、当該課で所掌する事務のほか、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 消防本部内の連絡調整に関すること。
- (2) 消防本部の庶務に関すること。
- (3) 消防本部の所掌事務で他の課に属しない事項に関すること。

消防署

消防 1課・ 消防 2課	指揮管理第1係 指揮管理第2係	(1) 指揮活動に関すること。 (2) 災害情報の受付、収集及び連絡に関すること。 (3) 情報処理業務の調整に関すること。 (4) 防災関係機関との災害に係る連絡調整に関すること。 (5) 災害現場への支援情報に関すること。 (6) 気象情報の収集及び伝達に関すること。 (7) 救急医療情報の収集及び伝達に関すること。 (8) 通信訓練及び技術の指導に関すること。 (9) 通信指令施設等の保守及び管理に関すること。 (10) その他通信全般に関すること。 (11) 東埼玉消防指令センターに関すること。 (12) 各署との連携及び調整に関すること。
	庶務第1係 庶務第2係	(1) 職員の訓練及び教養に関すること。 (2) 文書の收受及び整理保存に関すること。 (3) 職員の勤務に関すること。 (4) 職員の福利厚生に関すること。 (5) 物品の管理に関すること。 (6) 課の庶務に関すること。
	警防第1係 警防第2係	(1) 地理及び水利の調査に関すること。 (2) 消防機械器具の点検整備に関すること。 (3) 警防調査に関すること。 (4) 訓練の指導に関すること。
	救急第1係 救急第2係	(1) 救急業務に関すること。 (2) 救急資器材に関すること。 (3) 救急統計に関すること。 (4) 救急調査に関すること。 (5) 市民の救急相談及び指導に関すること。 (6) 応急手当の普及推進に関すること。 (7) 患者等搬送事業に対する指導及び認定に関すること。
	予防第1係 予防第2係	(1) 火災予防に関すること。 (2) 建築確認の同意に関すること。
		(1) 火災の原因調査に関すること。 (2) 水火災等の警戒及び防ぎょに関すること。 (3) 人命の救助対策に関すること。 (4) 防火対象物の査察に関すること。
分署	庶務第1係 庶務第2係	(1) 職員の訓練及び教養に関すること。 (2) 文書の收受及び整理保存に関すること。 (3) 物品の管理に関すること。 (4) 受付勤務に関すること。 (5) 分署の庶務に関すること。
	警防第1係 警防第2係	(1) 地理及び水利の調査に関すること。 (2) 消防機械器具の点検整備に関すること。 (3) 警防調査に関すること。 (4) 訓練の指導に関すること。 (5) 火災予防に関すること。
	救急第1係 救急第2係	(1) 救急業務に関すること。 (2) 救急資器材に関すること。 (3) 救急調査に関すること。 (4) 市民の救急相談及び指導に関すること。 (5) 応急手当の普及推進に関すること。
		(1) 火災の原因調査に関すること。 (2) 水火災等の警戒及び防ぎょに関すること。 (3) 人命の救助対策に関すること。 (4) 防火対象物の査察に関すること。
		(5) 建築確認の同意に関すること。



1 職員

(1) 条例定数と消防職員数

年 月 日	条例定数	実員数
昭和44年1月1日（発足）	15	12
昭和44年4月1日	30	23
昭和45年4月1日	42	32
昭和46年4月1日	42	39
昭和47年4月1日	55	39
昭和48年4月1日	55	52
昭和49年4月1日	60	59
昭和50年4月1日	65	63
昭和51年4月1日	100	69
昭和52年4月1日	100	69
昭和53年4月1日	100	92
昭和54年4月1日	100	100
昭和55年4月1日	100	98
昭和56年4月1日	107	104
昭和57年4月1日	107	107
昭和58年4月1日	107	107
昭和59年4月1日	115	115
昭和60年4月1日	115	115
昭和61年4月1日	115	115
昭和62年4月1日	115	113
昭和63年4月1日	120	119
平成1年4月1日	120	119
平成2年4月1日	120	120
平成3年4月1日	130	123
平成4年4月1日	130	126
平成5年4月1日	130	128
平成6年4月1日	130	130
平成7年4月1日	130	130
平成8年4月1日	140	134
平成9年4月1日	140	135
平成10年4月1日	140	139
平成11年4月1日	140	140
平成12年4月1日	150	140
平成13年4月1日	150	143
平成14年4月1日	150	144
平成15年4月1日	150	144
平成16年4月1日	165	145
平成17年4月1日	165	149
平成18年4月1日	165	152
平成19年4月1日	165	149
平成20年4月1日	165	154
平成21年4月1日	165	154
平成22年4月1日	165	156
平成23年4月1日	165	156
平成24年4月1日	165	158
平成25年4月1日	165	161
平成26年4月1日	165	159
平成27年4月1日	165	162
平成28年4月1日	165	162
平成29年4月1日	165	161
平成30年4月1日	165	162
平成31年4月1日	165	165
令和2年4月1日	165	164
令和3年4月1日	165	163
令和4年4月1日	175	164
令和5年4月1日	175	162
令和6年4月1日	175	164
令和7年4月1日	175	173
令和8年4月1日	175	172

(2) 所属別消防職員数

令和8年4月1日現在

分 所 属			区	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員	計	
消 防 長				1								1	
理 事													
次 長					1							1	
参 事										1		1	
消防本部	消防総務課	課 長		1								1	
		副 参 事											
		課 長 補 佐			1							1	
		主 幹											
		庶 務 係				1		[1]				1	[1]
		消 防 団 係					2		1			3	
	予 防 課	総 務 課 付		1	1	2	2	1				7	
		課 長		1								1	
		副 参 事											
		課 長 補 佐			1							1	
		主 幹											
		予 防 係				3		[1]	1	1		5	[1]
	警 防 課	危 険 物 係				1						1	
		課 長		1								1	
		副 参 事											
		課 長 補 佐			1							1	
		主 幹			1							1	
		警 防 救 助 係				1		1				2	
救 急 係						1	1				2		
小 計			1	5	5	11	3 [2]	4	1	1	31	[2]	
消防署	消 防 署 長			1								1	
		副 署 長			1							1	
	消 防 1 課	消 防 課 長		2								2	
		副 参 事		2								2	
		課 長 補 佐			2							2	
		主 幹			2							2	
		指 揮 管 理 係				8						8	
		庶 務 係				3	1	5	3			12	
		警 防 係					2	3	7			12	
		救 急 係					5	4	4	3		16	
	消 防 2 課	予 防 係				2	2 [1]		9			13	[1]
		分 署 長		1								1	
		副 参 事											
		副 分 署 長			2							2	
		主 幹			2							2	
		庶 務 係				2	2	1	3			8	
		警 防 係					2		2	4		8	
		救 急 係					2	3	2	3		10	
	南 分 署	分 署 長		1								1	
		副 参 事											
副 分 署 長				2							2		
主 幹				2							2		
庶 務 係					2	2	1	3			8		
警 防 係						2		2	4		8		
救 急 係						2		2	3		10		
分 署 長			1								1		
北 分 署	副 参 事												
	副 分 署 長			2							2		
	主 幹			2							2		
	庶 務 係				2		2	4			8		
	警 防 係					2	2	2	4		10		
	救 急 係					4	4	4	4		16		
	小 計				8	12	32	20 [1]	25	44		141	[1]
	合 計			1	13	17	43	23 [3]	29	45	1	172	[3]

※()は、兼任を示す。

※[]は、再任用短時間職員を示す。

(3) 勤続年数別消防職員数

令和8年4月1日現在

区分 年数	年号	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員	計
0 年	令和8年							8 (1)		8 (1)
1 年	令和7年						1 (1)	6		7 (1)
2 年	令和6年							8 (1)	1 (1)	9 (2)
3 年	令和5年						2	9		11
4 年	令和4年						2	6		8
5 年	令和3年						2	3		5
6 年	令和2年					1	3 (1)	5		9 (1)
7 年	平成31年					1	5			6
8 年	平成30年					2	6			8
9 年	平成29年					1	4			5
10 年	平成28年				1	3	2			6
11 年	平成27年				1	3	1			5
12 年	平成26年				1	2				3
13 年	平成25年				3 (1)	3				6 (1)
14 年	平成24年				4 (2)	1	1			6 (2)
15 年	平成23年				3					3
16 年	平成22年				4	2 (1)				6 (1)
17 年	平成21年				3 (1)	1				4 (1)
18 年	平成20年				6 (1)					6 (1)
19 年	平成19年			1	4					5
20 年	平成18年				3					3
21 年	平成17年				2	1				3
22 年	平成16年			1	1					2
23 年	平成15年			2						2
24 年	平成14年			2						2
25 年	平成13年			3						3
26 年	平成12年									
27 年	平成11年			1						1
28 年	平成10年			3						3
29 年	平成9年			2						2
30 年	平成8年		1	1						2
31 年	平成7年									
32 年	平成6年		1							1
33 年	平成5年		2			2				4
34 年	平成4年		2	1						3
35 年	平成3年		1							1
36 年	平成2年		1							1
37 年	平成元年		1							1
38 年	昭和63年		3		1					4
39 年	昭和62年		1							1
40 年	昭和61年	1			1					2
41 年	昭和60年									
42 年	昭和59年				3					3
43 年	昭和58年									
44 年	昭和57年									
45 年	昭和56年				2					2
合 計		1	13	17	43 (5)	23 (1)	29 (2)	45 (2)	1 (1)	172 (11)

※()は、うち女性を示す。

(4) 年齢別消防職員数

令和8年4月1日現在

区別 年齢	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員	計
18 歳							1		1
19 歳							1		1
20 歳							1		1
21 歳							5		5
22 歳							9		9
23 歳							12		12
24 歳							7		7
25 歳						2	6		8
26 歳						10	1		11
27 歳						5	1		6
28 歳						5	1		6
29 歳						2			2
30 歳					2	4			6
31 歳					3				3
32 歳					3	1			4
33 歳					7				7
34 歳				3	2				5
35 歳				4					4
36 歳				5					5
37 歳				6	1				7
38 歳				2	1				3
39 歳				4	1				5
40 歳				2					2
41 歳				1					1
42 歳				3	1				4
43 歳				5					5
44 歳			1						1
45 歳			1	1					2
46 歳			3						3
47 歳			5						5
48 歳			1						1
49 歳			3						3
50 歳									
51 歳		1	2						3
52 歳		1							1
53 歳		3			1				4
54 歳		1			1				2
55 歳		2	1						3
56 歳		2							2
57 歳		2		1					3
58 歳	1	1						1	3
59 歳									
60 歳				3	(1)				3
61 歳				1					1
62 歳					(1)				
63 歳				2					2
64 歳					(1)				
合 計	1	13	17	43	23	(3)	29	45	172
平 均	58.0	54.6	47.9	42.0	35.3	27.4	23.0	58.0	35.4

※()は、再任用短時間職員を示す。

(5)教育訓練の状況

令和8年4月1日現在

科目 \ 区分		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
消防 大学 校	警 防 科										
	予 防 科										
	救 助 科		1								
	救 急 科	1									
	幹 部 科	1	1	1		2			1	1	
	上 級 幹 部 科										
	査察業務マネジメントコース		1						1		
	女 性 活 躍 推 進 コ ー ス		1	1		1		1			1
	消 防 団 活 性 化 コ ー ス			1	1	1					
	合 計	2	4	3	1	4		1	2	1	1
消 防 学 校	初 任 教 育	6	7	9	10	5	8	7	10	5	7
	専 科 教 育	警 防 科	1	1	1	1	1	2	1	1	1
		特 殊 災 害 科	1		1		1		1		
		予 防 査 察 科	1		2		2		2	1	
		火 災 調 査 科		2		2		2		1	1
		救 助 科	1	1	1	1	1	1	2	1	1
	救 急 科	救 急 科	3	3	5	7	4	7	7	9	9
		幹 部 教 育									
		初 級 幹 部 科	1	1	1	1		2	2	2	2
	特 別 教 育	中 級 幹 部 科									
		実 科 指 導 員						2		2	1
		幹 部 特 別 教 育							1		
		警 防 活 動 教 育	1	1	1	1		2	2	1	1
		実 火 災 訓 練 指 導 者 教 育			2						
		実 火 災 訓 練 教 育				6	4	2	5	2	2
	合 計	15	16	23	29	18	27	29	31	23	26
救 急 救 命 士 養 成 課 程					1		1		1	1	
救 急 救 命 東 京 研 修 所		1	1	1				1		1	2

(6)職員の各種資格取得状況

種別		区分	合計	消防 総務課	予防課	警防課	消防署	南分署	北分署
自動車 運転 免許	大型免許		89	12	3	4	43	13	14
	中型免許		33	3	4	2	10	6	8
	普通免許		168	16	8	7	69	29	39
	自動二輪車免許		71	7	5	3	30	15	11
自動車整備士		2級	2				2		
陸上特殊無線技士			148	16	8	7	56	27	34
危険物取扱者		乙種第1類	10	2			6	1	1
		乙種第4類	24	2	2	2	13	4	1
		乙種第6類	4				3		1
		丙種	17	3	1	2	5	3	3
消防設備士		甲種第4類	1						1
		乙種第5類	1	1					
		乙種第6類	5	3			2		
予防技術資格者		防火査察	22	1	5	1	8	3	4
		消防設備	7		2		2	1	2
		危険物	5		2		2		1
小型船舶操縦士			67	8	5	3	31	8	12
潜水士			66	10	4	4	34	8	6
衛生管理者			8	3	1		2	2	
玉掛け技能講習			40	6	1	3	23	5	2
小型移動式クレーン運転技能講習			37	5	1	3	23	4	1
足場組立等作業主任者			17	4			8	3	2
酸素欠乏危険作業主任者			45	7	2	4	23	5	4
特定化学物質等作業主任者			21	3	2	1	5	3	7
救急救命士			56	6	2	3	19	8	18



1 水 利

(1) 消防水利設置状況

年度	種別	消 火 栓		防 火 水 槽		計
		1 5 0 mm以上	1 5 0 mm未満	4 0 m ³ 級	4 0 m ³ 超	
令和4年度		5	2	0 (0)	0 (6)	7 (6)
令和5年度		2	2	1 (1)	0 (1)	5 (2)
令和6年度		1	1	0 (4)	1 (6)	3 (10)
令和7年度		8	6	0 (1)	0 (7)	14 (8)

() は私設水利

(2) 消防水利状況

令和8年 4月1日 現在

区分		公 設			私 設			プール	川の 消火栓基地
		消火栓	防火水槽	計	消火栓	防火水槽	計		
南 分 署	1区	61	6	67	0	13	13	1	1
	2区	52	9	61	0	9	9	1	0
	3区	36	4	40	0	1	1	1	3
	4区	48	1	49	0	12	12	2	1
	5区	34	2	36	0	4	4	1	2
	6区	47	6	53	0	7	7	1	1
	7区	22	2	24	0	2	2	0	0
	8区	50	5	55	0	16	16	1	0
	9区	62	5	67	1	9	10	1	0
	10区	30	1	31	0	11	11	1	0
	小計	442	41	483	1	84	85	10	8
本 署	11区	98	10	108	2	47	49	0	0
	12区	47	16	63	0	4	4	0	0
	13区	48	9	57	2	9	11	1	3
	14区	40	1	41	0	21	21	1	3
	15区	54	5	59	2	15	17	0	1
	16区	55	4	58	0	21	21	1	6
	小計	342	45	386	6	117	123	3	13
北 分 署	17区	40	1	41	4	19	23	0	0
	18区	51	2	53	1	26	27	1	2
	19区	38	11	49	1	3	4	1	0
	20区	41	5	46	1	7	8	0	0
	21区	52	8	60	0	8	8	0	0
	22区	40	2	42	0	8	8	3	0
	23区	19	1	19	8	22	30	6	0
	24区	33	3	36	0	24	24	0	0
	25区	40	6	46	0	12	12	2	1
	26区	31	6	37	0	7	7	0	0
	27区	31	4	35	0	7	7	1	0
	28区	40	8	48	0	6	6	1	0
	29区	27	3	30	0	5	5	1	1
	小計	483	60	542	15	154	169	16	4
合 計		1267	146	1411	22	355	377	29	25

* 指定消防水利も含む

2 消防本部・署車両の配置状況

令和8年4月1日現在

種別	車名・形式	車両番号	初年度登録年月日	エンジン排気量	ポンプ級別	乗員定員	備考
消防本部	公用車	ホンダ DBA-BG5	平成29年3月	1.49		6	
	連絡車（消防総務課）	ホンダ DBA-RP1	平成28年3月	1.49		8	
	予防1号車	ニッサン CBF-CSG25	平成20年2月	2.48		8	
	予防2号車	ホンダ DBA-RP1	平成28年11月	1.49		8	
	広報車（軽）	ホンダ DBA-JF1	平成28年8月	0.65		4	自主防犯活動用自動車
	団本部公用車	トヨタ CBA-NCP58G	平成22年5月	1.49		5	消防団顧問寄贈車
	指令車（防災活動車）	ニッサン ABF-SKP2MN	平成23年2月	1.79		5	日本消防協会寄贈車
	防災活動車（軽）	ニッサン HBD-DR17V	平成28年12月	0.65		4	日本消防協会寄贈車
	防火安全車	トヨタ 3BF-TRH223B	令和2年9月	2.69		14	防火安全協会寄贈車
	指揮車	トヨタ 3BF-TRH226S	令和5年3月	2.69		5	
消防署（本署）	水そうポンプ車	日野 BDG-GX7JGWA 改	平成22年12月	6.40	A2級	6	水そう 1,500ℓ ・（緊援登録車両）
	救助工作車	日野 2PG-GX2ABA	令和4年2月	5.12		5	クレーン、ウインチ、照明
	化学しごき車	日野 2PG-GD2ABA	令和2年3月	5.12	A2級	6	水そう 1,500ℓ 薬液槽 A 300・B 3000
	はしご車	日野 QDG-PRIAPEF	平成28年1月	8.86		6	はしご伸長 40m
	救急車	トヨタ 3BF-TRH226S	令和7年2月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	平成31年2月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	平成26年3月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	平成25年2月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	消防ポンプ車	日野 PD-XZU334M	平成17年3月	4.00	A2級	6	災害対応特殊救急自動車
	資材運搬車	日野 PB-XZU414M	平成18年3月	4.00		3	リアパワーゲート付 （緊援登録車両）
	小型貨物車	トヨタ ABF-S412U	平成24年3月	1.49		2	最大積載量 650kg リアパワーゲート付
	トレッカス	ソレックス	令和4年8月				最大積載量 400kg
	先導車	ニッサン 3BA-KS6F26	令和5年2月	2.48		10	
南分署	水そうポンプ車	日野 2PG-GX2ABA	令和3年3月	5.12	A2級	6	水そう 1,800ℓ 薬剤タンク 200 （緊援登録車両）
	普通ポンプ車	日野 SKG-XZU640M	平成24年3月	4.00	A2級	5	水そう 550ℓ、サイドフル吸管、電動ホースカー
	救急車	トヨタ 3BF-TRH226S	令和5年2月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	平成25年2月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	積載車	いすゞ SKG-NHS85A	平成24年3月	2.99	B2級	6	小型動力ポンプ（シバウラ FZ700）
	トレッカス	ソレックス	令和3年8月				最大積載量 400kg
北分署	先導車	ダイハツ 5BA-A210S	令和3年10月	0.99		5	
	水そうポンプ車	日野 2PG-GX2ABA	令和6年6月	5.12	A2級	6	水そう 2,000ℓ
	普通ポンプ車	日野 BDG-XZU334M	平成21年2月	4.00	A2級	5	水そう 700ℓ、サイドフル吸管、電動ホースカー
	救急車	トヨタ 3BF-TRH226S	令和3年1月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車（緊援登録車両）
	救急車	トヨタ 3BF-TRH226S	令和7年2月	2.69		7	災害対応特殊救急自動車
	積載車	いすゞ SKG-NHS85A	平成24年3月	2.99	B2級	6	小型動力ポンプ（シバウラ FZ700）
	トレッカス	ソレックス	令和2年8月				最大積載量 400kg

3 消防用機械器具保有状況

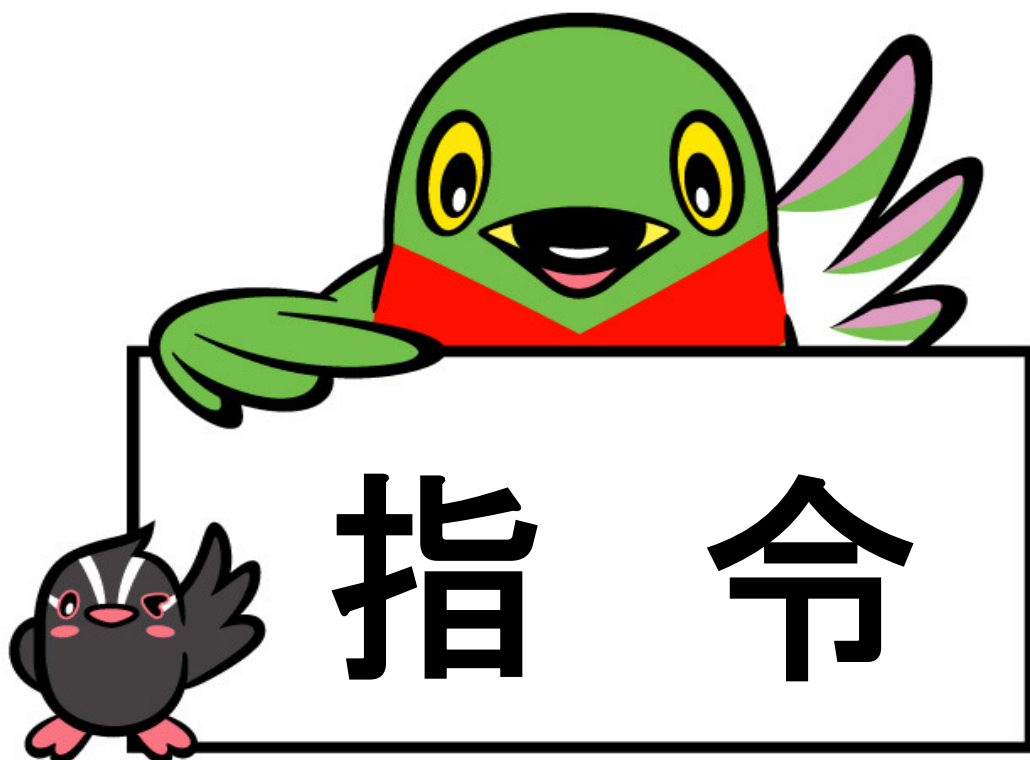
令和8年4月1日現在

	機 械 器 具 名	数 量			種 別	機 械 器 具 名	数 量		
		本署	南分署	北分署			本署	南分署	北分署
一般救助器具	かぎ付きはしご	4	2	2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	20	9	10
	三連はしご	3	2	2		空気補充用ボンベ	38	13	15
	金属製折りたたみはしご	1				酸素呼吸器	5		
	空気式救助マット	1				簡易呼吸器	3		
	救命索発射銃	1				防塵マスク	10	16	10
	救助用縛帯	6	3	1		送排風機	4	2	2
	平型担架・バスケット型担架	4	1	1					
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1		隊員保護用器具	耐電手袋	9	1	1
	油圧スプレッダー	1				耐電衣	4	1	1
	可搬ウィンチ	1	1	1		耐電ズボン	4	1	1
	マンホール救助器具	2				耐電長靴	4	2	2
	救助用簡易起重機	1				防塵メガネ	21		
	マット型空気ジャッキ	2				携帯警報器	20	12	10
	大型油圧スプレッダー	1	1			防毒マスク	19		6
	救助用支柱器具	2				化学防護服	25		
						陽圧式化学防護服	6		
						放射線防護服	10		
切断用器具	油圧切断機	1			水難救助器具	潜水器具	7		
	エンジンカッター	3	2	2		救命胴衣	41	16	35
	ガス溶断器	1				水中投光器	6		
	チェーンソー	5	2	2		救命浮環	4	3	2
	鉄線カッター	8	3	5		浮標	1		
	空気式鋸	1				救命ボート	3	1	1
	大型油圧切断機	1	1			船外機	2	1	1
	空気式切断機	1				水中無線機	1		
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1				水中時計	1		
						水中テレビカメラ	1		
破壊用器具	万能斧（トップマン・弁慶）	13	6	7	高度救助器具	画像探索機	1		
	ハンマー	3	2	2		地中音響探知機	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1				熱画像直視装置	6	1	1
	削岩機	2				地震警報器	1		
	ハンマードリル	1							
検知・測定用器具	生物剤検知器	0			その他の救助器具	投光器	4	3	3
	可燃性ガス測定器	5	2	2		携帯投光器	20	7	6
	有毒ガス測定器	6	2	2		携帯拡声器	6	2	4
	酸素濃度測定器	5	2	2		携帯無線機	14	6	6
	化学剤検知器	1				応急処置セット	6	4	4
	放射線測定器	5				車両移動器具	2		
除染用器具	除染シャワー歩行可能者用	1				緩降機	2		
	除染シャワー歩行可能者用、担架用	1				ロープ登降機	5		
	除染剤散布器	2				救助用降下機	3		
						発電機	6	2	2

4 消防相互応援協定

令和8年4月1日現在

締結年月日	都市町名	内 容
昭和40年1月23日	東京都	普通・特別応援
平成3年4月1日	流山市	普通・特別応援
昭和58年11月30日	吉川松伏消防組合	普通・特別応援
昭和53年7月5日	越谷市	特別応援
平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定	
平成3年3月29日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定	
平成30年6月2日	東京外環自動車道消防相互応援協定（高谷JCT～大泉IC）	
平成10年3月20日	松戸市	普通・特別応援
平成31年2月1日	茨城県高速自動車道等消防相互応援協定	
平成28年4月1日	草加八潮消防組合	普通・特別応援
平成30年11月20日	市川市	ドクターヘリコプター臨時離着陸場
令和3年3月17日	流山市	ドクターヘリコプター臨時離着陸場



指令

1 指令

(1) 通信設備 令和8年4月1日現在

区分	種別	一 般 電 話	携 帯 電 話	埼玉県防災行政 無線	消防無線電話	
					車載移動局	携帯移動局
消防本部 及び 消防署		19(3)	21	2(2)	15	13
南分署		3(1)	5	-	6	6
北分署		3(1)	7	-	6	6

※()内の数値は、FAX電話を示す。

(2) 119番専用電話等入電件数

令和7年

		火 災	救 急 (PA出場含む)	救 助	他災害	問合せ	試験	不 明 いたずら	間違い (携帯誤操作含む)	転 送		合 計
										受信	送信	
1月	固 定	9	388	1	1	46	22	12	8	3	1	488
	携 帯	2	502	2	1	108	2	36	24	55	46	723
	その他	4	76	1	4	50	4	0	1	0	0	140
2月	固 定	7	278	0	0	21	28	11	8	4	0	353
	携 帯	20	449	2	4	70	2	69	33	54	41	690
	その他	5	50	4	6	30	0	0	0	0	0	95
3月	固 定	4	270	0	18	25	56	12	13	1	1	399
	携 帯	8	522	6	22	60	4	17	35	62	36	710
	その他	3	56	3	12	14	1	0	0	0	0	89
4月	固 定	3	248	1	0	18	25	6	20	1	0	321
	携 帯	2	381	5	4	73	5	39	29	49	35	573
	その他	6	62	2	6	15	3	1	0	0	0	95
5月	固 定	2	270	1	0	8	22	10	13	1	0	326
	携 帯	7	445	2	13	65	5	30	43	59	18	628
	その他	8	50	2	1	19	3	0	4	0	0	87
6月	固 定	8	287	0	1	12	22	6	5	6	1	342
	携 帯	3	470	1	8	65	11	32	37	69	35	662
	その他	5	65	3	5	28	0	1	1	0	1	109
7月	固 定	1	291	0	5	21	11	15	11	1	2	357
	携 帯	7	493	1	6	76	0	66	47	53	31	727
	その他	8	59	2	6	26	2	3	2	0	0	108
8月	固 定	5	257	1	0	14	15	6	8	2	2	308
	携 帯	9	486	0	3	79	1	56	41	63	43	718
	その他	5	59	4	3	10	0	1	0	0	1	83
9月	固 定	1	251	0	0	17	39	6	7	0	0	321
	携 帯	7	476	4	13	57	4	28	39	61	40	668
	その他	7	60	4	4	20	0	3	1	0	0	99
10月	固 定	0	261	0	1	16	37	6	9	2	3	333
	携 帯	7	421	3	12	51	7	67	40	59	37	645
	その他	7	61	4	7	16	2	4	3	0	0	104
11月	固 定	2	252	1	2	23	68	7	8	1	0	363
	携 帯	7	494	2	9	66	10	39	24	65	38	689
	その他	6	66	5	5	11	3	1	3	0	1	101
12月	固 定	2	291	2	1	7	24	7	6	1	3	343
	携 帯	8	471	4	12	54	10	19	34	57	46	658
	その他	3	54	0	6	22	0	2	1	0	0	88
合計	固 定	44	3,344	7	29	228	369	104	116	23	13	4,254
	携 帯	87	5,610	32	107	824	61	498	426	706	446	8,091
	その他	67	718	34	65	261	18	16	16	0	3	1,198
総計		198	9,672	73	201	1,313	448	618	558	729	462	13,543

※ 固定電話は、IP電話含む。 ※ 入電件数合計に転送(受信)は含まず。

※ その他は、一般電話、警察専用電話及び高速専用電話等。

※ 転送は、他市消防本部等から転送(受信)及び他市消防本部への転送(送信)

(3) 緊急通報専用電話等入電件数

令和7年

種別 月別	火 災			救 急			救 助			そ の 他				合 計
	緊急通報	FAX	NET	緊急通報	FAX	NET	緊急通報	FAX	NET	緊急通報	うち無言通報	FAX	NET	
	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	
1 月	0	0	0	11	0	0	0	0	0	4	2	0	0	15
2 月	0	0	0	6	0	0	0	0	0	2	2	0	0	8
3 月	0	0	0	3	0	0	0	0	0	5	4	0	0	8
4 月	0	0	0	10	0	0	0	0	0	2	2	0	0	12
5 月	0	0	0	10	0	0	0	0	0	1	1	1	1	13
6 月	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	2	0	0	6
7 月	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
8 月	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	2	0	0	9
9 月	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	1	0	0	6
10 月	0	0	0	4	0	1	0	0	0	3	2	0	0	8
11 月	0	0	0	9	0	0	0	0	0	4	4	0	0	13
12 月	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合 計	0	0	1	74	0	2	0	0	0	29	22	1	1	108

※FAX119は聴覚障がい者用ファックスを含む ※NET119緊急通報システム登録者数 97名

2 気象観測状況

令和7年

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最高・最低 最大・合計 平均
気 温 (℃)	最 高	12.9	16.1	25.8	30.1	31.9	37.9	31.9	39.9	38.3	29.6	21.7	18.6	39.9
	最 低	-2.4	-1.5	0.4	4.0	12.1	15.4	12.1	23.8	17.3	9.2	3.8	-1.8	-2.4
	平 均	5.6	5.8	10.4	15.9	19.5	25.7	19.5	30.4	27.0	18.5	12.2	7.3	16.5
湿 度 (%)	最 少	14.7	13.8	12.5	11.6	26.3	21.1	34.7	33.8	35.8	32.2	25.2	21.9	11.6
	平 均	53.6	42.4	63.2	65.9	72.3	72.9	72.3	71.7	74.2	76.1	64.3	61.7	65.9
風 向	最 多	北北西	北北西	北北西	南	南	南	南	南	南	北北西	北北西	北北西	
風 速 (m/s)	最 大	16.5	24.7	18.8	21.0	19.5	18.5	17.2	19.0	13.8	15.4	20.5	20.8	24.7
	平 均	2.0	2.7	2.7	3.0	2.7	2.7	2.7	2.8	2.6	2.3	1.7	1.9	2.5
降水量 (mm)	降水量	43.0	5.0	109.0	109.5	150.5	150.5	150.5	45.5	128.0	73.5	10.5	30.0	150.5
	一日最大	19.5	5.0	23.5	36.0	42.0	81.0	42.0	15.0	60.0	34.5	9.0	9.0	81.0
天候別 日 数	晴	23	24	16	15	14	13	14	15	13	8	17	22	194
	曇	8	3	6	12	12	13	12	14	15	6	11	6	118
	雨	0	1	6	3	5	4	5	2	2	17	2	3	50
	雪	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計		31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365



予
防

火の確認
いい日を支える
いい習慣

2026年度全国統一防火標語

1 防火対象物の数

各年3月31日現在

用 途	令和6年	令和7年	令和8年
(1) イ 劇場、映画館、演芸場、又は観覧場	1	1	1
ロ 公会堂又は集会場	27	27	27
(2) イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ	6	6	6
ロ 遊技場又はダンスホール			
ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
ニ カラオケボックス等			
(3) イ 待合、料理店	1	1	1
ロ 飲食店	94	63	63
(4) 百貨店、マーケット等	174	156	156
(5) イ 旅館、ホテル、又は宿泊所	7	6	6
ロ 寄宿舍、下宿、又は共同住宅	1,340	1,370	1,389
(6) イ 病院、診療所、又は助産所	46	55	41
ロ 老人福祉施設等	50	50	49
ハ 老人福祉施設等	67	72	74
ニ 幼稚園、養護学校等	13	12	12
(7) 小学校、中学校、高等学校等	83	81	81
(8) 図書館、博物館、美術館	4	4	4
(9) イ 蒸気浴場、熱気浴場	2	2	2
ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		
(10) 車両の停車場、船舶・航空機の発着場	3	3	3
(11) 神社、寺院、教会	26	25	25
(12) イ 工場又は作業場	430	434	440
ロ 映画スタジオまたはテレビスタジオ			
(13) イ 自動車車庫又は駐車場	26	27	27
ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
(14) 倉庫	480	486	502
(15) 前各項に該当しない事業場	318	319	327
(16) イ 特定複合用途防火対象物	249	248	260
ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物	131	136	138
(17) 重要文化財等			
計	3,579	3,584	3,634

* 6項ロ 老人短期入所施設等 6項ハ 老人デイサービスセンター等

* 7項については、学校体育館、施設等を含む

* 防火対象物実態調査より（延面積 150 ㎡以上を抽出。ただし、6項イ（病院等）、6項ロ（老人短期入所施設）については実数表示とする）

* 平成31年より、ららぽーと新三郷内の各テナントは3項4項に計上せず、16項イ1件とする

2 中高層建築物数

(1) 用途別階層別数

令和8年3月31日現在

用途 \ 階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階	21階	25階	計
(2) ロ 遊技場、ダンスホール		1													1
(5) イ 旅館等	1		1			1									3
(5) ロ 共同住宅等	258	23	17	41	12	14	34	8	8	25	2	1	3	1	447
(6) イ 病院等	1		2												3
(6) ロ 老人ホーム等		1	1												2
(7) 学校	3														3
(12) イ 工場等	1	2													3
(13) イ 駐車場等		1													1
(14) 倉庫	4	2													6
(15) 事務所等	3	1		1											5
(16) イ 特定複合	20	5	1	1	2	2	2	1		1					35
(16) ロ 一般複合	2	3	2	4		1									12
計	293	39	24	47	14	18	36	9	8	26	2	1	3	1	521

(2) 地区別階層別数

令和8年3月31日現在

地区 \ 階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階	21階	25階	計
東 和	12	7	10	11	1	2	1	2							46
彦 成	11	4	1	3	1										20
早 稲 田	37	28	11	13	12	16	5	5	3	11	2	1		1	145
みさと団地	162		2	19			30			4					217
さつき平								2	5	11			3		21
早稲田団地	71			1											72
計	293	39	24	47	14	18	36	9	8	26	2	1	3	1	521

※中央地区（前東和地区を含む）が早稲田地区へ反映されたものを集計。

3 消防同意事務

(1) 申請別建築確認同意事務処理件数

令和7年度

月	区 分	新築	増築	改築	用途変更	その他	計
令和7年	4月	5					5
	5月	5	2				7
	6月	14	2			1	17
	7月	21					21
	8月	21	1		1		23
	9月	5					5
	10月	19					19
	11月	14	2				16
	12月	8					8
令和8年	1月	15	1				16
	2月	9	1				10
	3月	10	1				11
計		146	10		1	1	158

(2) 用途別建築確認同意事務処理件数

令和7年度

用 途	件数	用 途	件数
(1) イ 劇場等 ロ 集会場等	1	(10) 車両の停車場等	
		(11) 神社等	2
(2) イ キャバレー等 ロ 遊技場等 ハ 性風俗関連 ニ カラオケボックス等		(12) イ 工場等 ロ 映画スタジオ等	4
(3) イ 料理店等 ロ 飲食店等		(13) イ 自動車車庫等 ロ 飛行機の格納庫等	
(4) 店舗等	3	(14) 倉庫	14
(5) イ ホテル等 ロ 共同住宅等	19	(15) 前各号に該当しない事業所	12
		(16) イ 特定複合用途防火対象物 ロ イ以外の複合用途防火対象物	1
(6) イ 病院等 ロ 福祉施設等 ハ 福祉施設等 ニ 幼稚園等	31	住 宅 等	98
(7) 学 校 等			
(8) 図書館等			
(9) イ 蒸気浴場等 ロ イ以外の公衆浴場		合 計	158

4 消防用設備等の届出状況

令和7年度

設備等 区 分	設 置 届	工事着工届
消 火 器	8 6	
屋 内 消 火 栓 設 備	1 4	1 4
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	1 3	1 0
水 噴 霧 消 火 設 備		
泡 消 火 設 備	1	1
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備		1
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備		1
粉 末 消 火 設 備	4	3
屋 外 消 火 栓 設 備	3	3
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備		
自 動 火 災 報 知 設 備	1 0 4	7 3
総 合 操 作 盤	1	2
漏 電 火 災 警 報 器		
消防機関へ通報する火災報知設備	7	7
非 常 警 報 設 備	3 0	7
避 難 器 具	1 6	3
誘 導 灯	9 5	
消 防 用 水	1	
排 煙 設 備	1 1	
連 結 散 水 設 備		
連 結 送 水 管	6	5
非 常 コ ン セ ン ト 設 備		
計	3 9 2	1 3 0

5 火災予防条例等に伴う各種届出状況

令和7年度

種 別	件 数	種 別	件 数
発 電 設 備	5	揚 煙 届	6 6
変 電 設 備	2 6	煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	4
蓄 電 池 設 備	1 1	催 物 開 催 届	1 4
急 速 充 電 設 備	0	道 路 工 事 届	3 0 2
ネ オ ン 管 灯 設 備	0	露 店 開 設 届	7 6
水 素 ガ ス 気 球 届	0	水 道 断 減 水 届	0
指 定 可 燃 物 届	6	火 薬 類 譲 受 許 可 申 請	0
少 量 危 険 物 届	1 2	火 薬 類 煙 火 消 費 許 可 申 請	2
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 備 届	1 3	計	5 5 2
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	6		
液 化 石 油 ガ ス 貯 蔵 取 扱 届	8		
毒 劇 物 等 貯 蔵 取 扱 届	1		

6 危険物施設の数

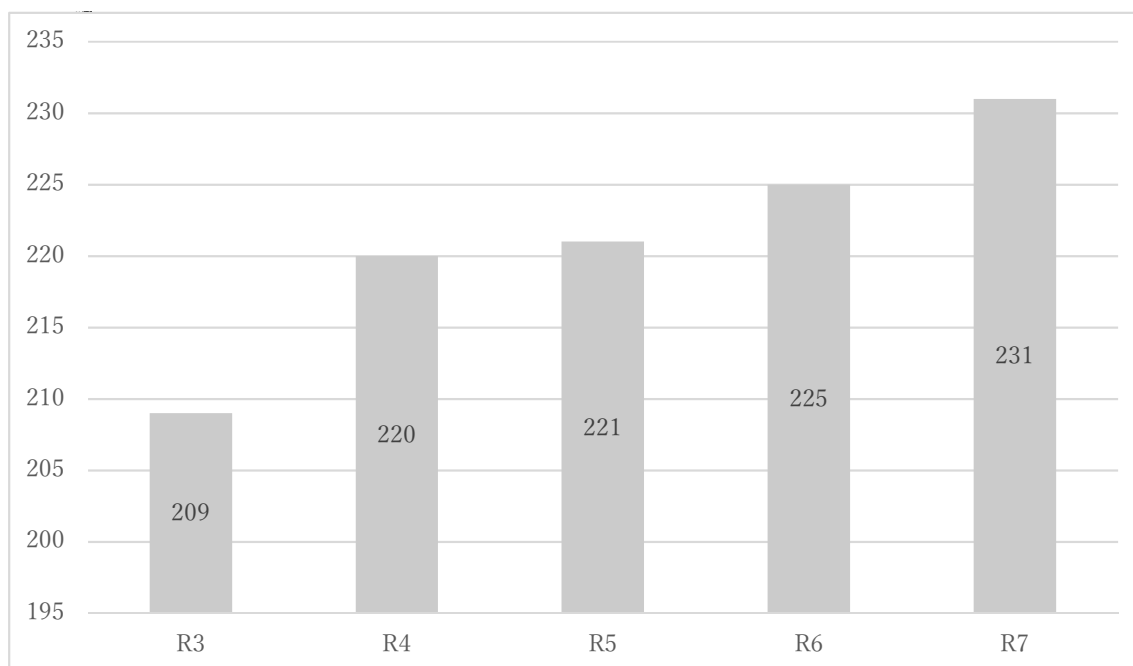
消防法で定める別表第1の品名欄の物品を貯蔵又は取り扱う危険物事業所数は、104事業所、危険物施設数は231施設あり、それを種類別に分けると下表のとおりである。

(1) 施設の種類の施設数

令和8年3月31日現在

施 設 の 種 類		施 設 数
製 造 所		2
貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	2
	屋 内 貯 蔵 所	27
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	8
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	5
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	42
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	69
取扱所	給 油 取 扱 所	43
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1
	一 般 取 扱 所	32
計		231

危険物施設数の推移（5年間）



(2) 危険物の種類別施設数

令和8年3月31日現在

区 分 \ 種 別		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在	計
製 造 所					2				2
貯蔵所	屋 外				2				2
	屋 内				26			1	27
	屋 外 タンク				8				8
	屋 内 タンク				5				5
	地 下 タンク				42				42
	移 動 タンク				69				69
取扱所	給 油				43				43
	第 2 種 販 売 般				1				1
	一				32				32
計					230			1	231

(3) 危険物の貯蔵・取扱い数量別施設数

令和8年3月31日現在

区 分 \ 指定数量		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超えるもの	計
製 造 所			2						2
貯蔵所	屋 外		1					1	2
	屋 内	12	6	8	1				27
	屋 外 タンク	2	2	4					8
	屋 内 タンク	3	1	1					5
	地 下 タンク	17	5	13	2		2	3	42
	移 動 タンク	30	2	4	1	14		18	69
取扱所	給 油		6	16	2		5	14	43
	第 2 種 販 売 般			1					1
	一	10	10	10	1			1	32
計		74	35	57	7	14	7	37	231

(4) 地名別危険物施設数

令和8年3月31日現在

施設の区分 地名	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所			計
		屋外	屋内	屋タン外ク	屋タン内ク	地タン下ク	移タン動ク	給油	第販二種売	一般	
東 町										1	1
泉								1		2	3
岩 野 木											
インター南			3		2		2	2		2	11
采 女								1			1
上 口							2	2			4
上彦川戸			2			2	1	1			6
上 彦 名				1		2		1		2	6
幸 房								1			1
駒 形							35	2			37
小 谷 堀			1			1				1	3
栄							1	3			4
下彦川戸								1			1
新三郷らんティ			1			3		2		1	7
新 和		1				8	1	4		3	17
前 間								1			1
高 州											
鷹 野			3	2		4	1	1		2	13
田中新田							2			1	3
中 央			1			1	2	1		1	6
戸ヶ崎	2		3	2		4	5	3		2	21
仁 蔵						1					1
花 和 田			1			1				1	3
番 匠 免						4	5	2		4	15
半 田							10	2			12
ピアラシティ			1			1		2			4
彦 糸						1		1			2
彦 江			2	2	1	2				3	10
彦 川 戸		1	4	1	1			3		2	12
彦 成			1					1			2
南 蓮 沼			1			1		1		1	4
茂 田 井						5		1		2	8
谷 口			1			1	2	2	1	1	8
早 稲 田			2		1			1			4
合 計	2	2	27	8	5	42	69	43	1	32	231

7 危険物関係事務取扱い件数

令和7年度

種 別 区 分		許 可		完成検査		完成検査前検査		仮使用	仮貯蔵 仮取扱い
		設置	変更	設置	変更	水張	水圧		
製 造 所			1		1	7		1	
貯 蔵 所	屋 外								5 1
	屋 内								
	屋外タンク								
	屋内タンク								
	地下タンク	4	1	3					
	移動タンク	6	3	6	3				
取 扱 所	給 油		7		7			6	
	第2種販売 一 般	3		1		4			1
計		1 3	1 2	1 0	1 1	1 1		7	5 2

令和7年度

区 分		件 数
危険物保安監督者選解任届		2 3
危険物製造所等品名、数量又は倍数変更届		4
危険物製造所等譲渡・引渡届		3
公 安 委 員 会 へ の 通 報		
予 防 規 程	制 定	
	変 更	5
危険物製造所等廃止届		8
軽微な変更工事届出		1 7
危険物製造所等使用休止再開届		1
危険物取扱従事者届出		2 9
設置者氏名（名称）変更届		3 1
地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び 危険物の漏えい時の措置に関する計画届		

8 液化石油ガス地名別販売事業所数

令和8年3月31日現在

地 名	件 数
東 町	1
泉	1
栄	1
高 州	2
田 中 新 田	1
戸 ケ 崎	1
茂 田 井	1
三 郷	1
番 匠 免	1
計	10



安全でいつも安心して住めるまちづくりにご協力願います。

9 立入検査実施状況

(1) 防火対象物

令和7年度

用 途 別	件数
1 項イ 公会堂又は集会場	
1 項ロ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
2 項ロ 遊技場又はダンスホール	1
3 項ロ 飲食店	7 4
4 項 百貨店、マーケット等	6
5 項イ 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	1
5 項ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	
6 項イ 病院、診療所又は助産所	
6 項ロ 特別養護老人ホーム等	
6 項ハ 老人福祉施設等(6 項ロに掲げるものを除く)	
6 項ニ 幼稚園又は特別支援学校	
9 項イ 蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3
12 項イ 工場又は作業場	2
13 項イ 自動車車庫又は駐車場	
14 項 倉庫	1
15 項 前各項に該当しない事業所	2
16 項イ 複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	1 9
16 項ロ 複合用途防火対象物で特定用途部分を有しないもの	
計	1 0 9

(2) 危険物施設

令和7年度

施 設 の 区 分	件数
貯 蔵 所	
屋 外 貯 蔵 所	1
屋 内 貯 蔵 所	2 0
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	6
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4
地 下 貯 蔵 所	3 0
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	3 6
取 扱 所	
給 油 取 扱 所	6
第 2 種 販 売 取 扱 所	1
一 般 取 扱 所	2 1
製 造 所	1
計	1 2 6



解 説

1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

＊「爆発現象」は、化学的变化による爆発の一つの形態であり、急速に進行する化学反応によって、多量のガスと熱を発生し、爆鳴・火炎及び破壊作用を伴う現象をいう。

2 火災の種別

火災は、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が2以上複合するときは、焼き損害額の大なるものの種別による。ただし、その態様により焼き損害額の大なるものの種別によることが社会通念上適当でないとき認められるときはこの限りでない。

(1) 建物火災

ア 「建物火災」とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 「建物」とは、土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物に設けた事務所、店舗、興業場、倉庫その他これらに類する施設をいい、貯蔵槽その他これに類する施設を除く。

ウ 「収容物」とは、原則として柱、壁等の区画の中心線で囲まれた部分に収容されている物をいう。

(2) 林野火災

ア 「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

イ 「森林」とは木竹が集団して生育している土地及びその土地の上にある立木竹と、これらの土地以外で木竹の集団的な生育に供される土地をいい、主として農地又は住宅地若しくはこれに準ずる土地として使用される土地及びこれらの上にある立木竹を除く。

ウ 「原野」とは、雑草、灌木類が自然に生育している土地で人が利用しないものをいう。

エ 「牧野」とは、主として家畜の放牧又は家畜の飼料若しくは敷料の採取の目的に供される土地（耕地の目的に供される土地を除く。）をいう。

(3) 車両火災

「車両火災」とは、次に区分する自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

ア 「自動車車両」とは、イの鉄道車両以外の車両で、原動機によって運行することができる車両をいう。

イ 「鉄道車両」とは、鉄道事業法（昭和61年法律第92号）における旅客、貨物の運送を行うための車両又はこれに類する車両をいう。

(4) 船舶火災

- ア 「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- イ 「船舶」とは、独行機能を有する帆船、汽船及び端船並びに独行機能を有しない住居船、倉庫船、はしけ等をいう。

(5) 航空機火災

- ア 「航空機火災」とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- イ 「航空機」とは、人が乗って航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船等の機器をいう。

(6) その他の火災

「その他の火災」とは、(1) から (5) までに掲げる火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

3 焼損棟数

(1) 焼損棟数の算定方法

- ア 「焼損棟数」とは、焼損した建物の棟数をいう。
- イ 「棟」とは、1つの独立した建物をいう。ただし、渡り廊下の類で2以上の棟に接続しているものは、その部分を折半してそれぞれの棟と同一の棟とする。

(2) 焼損程度

焼損の程度は、次のとおり区分する。

- ア 全焼
建物の70パーセント以上を焼損したもの、又は、これ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- イ 半焼
建物の20パーセント以上70パーセント未満を焼損したものをいう。
- ウ 部分焼
全焼、半焼及びぼやに該当しないものをいう。
- エ ぼや
建物の10パーセント未満を焼損したもので、かつ、焼損床面積及び焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は、収容物のみを焼損したものをいう。

4 り災世帯数

(1) り災世帯数の算定方法

- ア 一般世帯又は施設等の世帯については、国勢調査の例に準じてり災世帯数を算出する。
- イ 共同住宅の共用部分のみり災した場合には、り災世帯数を計上しない。

5 損害額

(1) 火災損害の意義

- ア 「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、り災のための休業による損害等の間接的な損害を除く。

イ 火災損害は、焼き損害、消火損害又は爆発損害に区分する。

(ア) 「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいう。

(イ) 「消火損害」とは、火災の消火行為に付随して発生する水損、破損、汚損等のものの損害をいう。

(ウ) 「爆発損害」とは爆発現象により受けた破損等の損害で、前記(ア)(イ)以外の損害をいう。

6 死者及び負傷者

(1) 死者及び負傷者の範囲

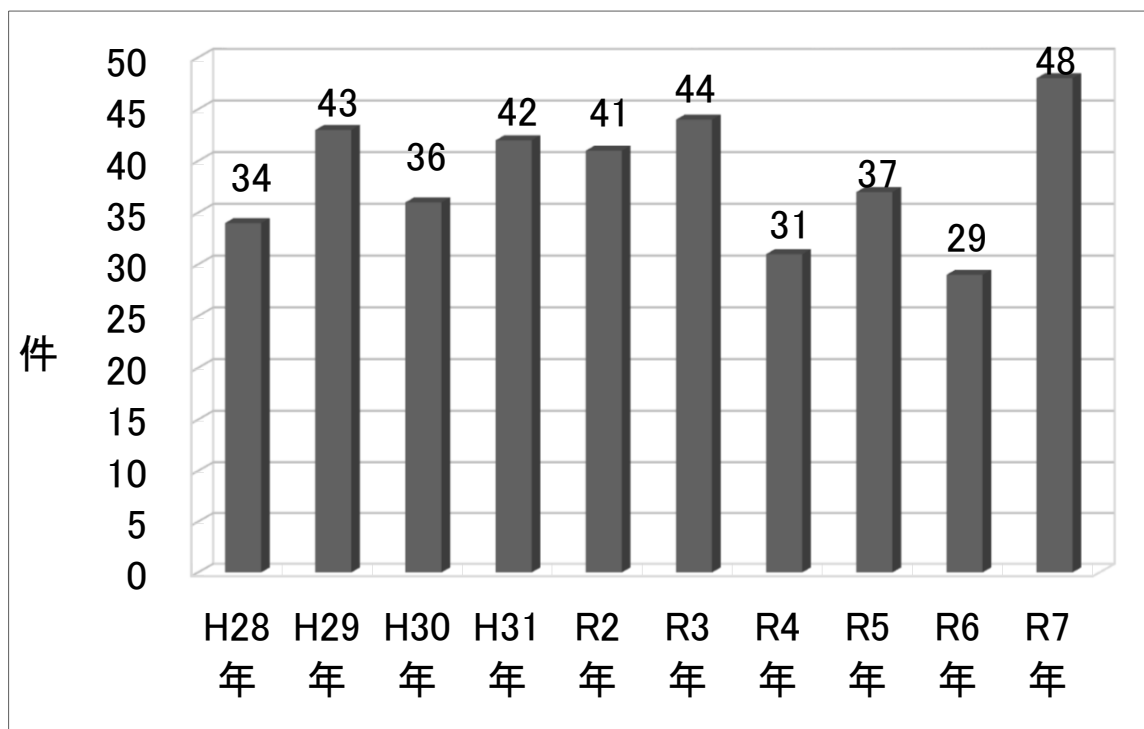
ア 「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者（病死者を除く。）又は負傷した者をいう。この場合、消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げる時までの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者又は負傷者とする。

イ 火災により負傷した後30日以内に死亡した者は、火災による死者とする。

1 火災の概況(5年間)

区 分 \ 年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
総出火件数(件)	44	31	37	29	48
建 物 火 災	28	18	19	20	32
車 両 火 災	9	5	10	3	3
船 舶 火 災					
そ の 他 の 火 災	7	8	8	6	13
焼損棟数(棟)	52	18	25	23	40
り災世帯数(世帯)	32	6	24	22	26
り災人員(人)	61	15	62	51	49
建物焼損床面積(㎡)	1,301	1,140	530	783	791
建物焼損表面積(㎡)	227	9	72	80	72
損害額(千円)	159,960	81,959	158,108	125,461	213,741
死傷者数(人)					
死 者	3	2	2	1	1
負 傷 者	7	1	4	6	1

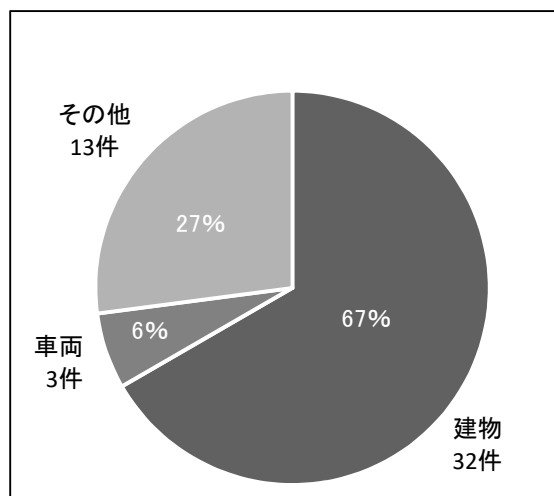
2 火災発生件数の推移(10年間)



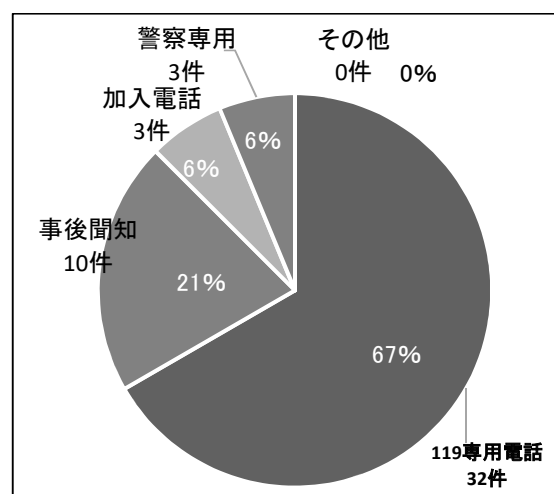
3 令和7年三郷市火災概況
(1) 月別火災概況

月別区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数	建物	全焼	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		半焼	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		部分焼	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	6
		ぼや	0	3	3	2	5	1	2	3	0	2	0	23
	車両	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	船舶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	3	0	1	1	0	0	2	3	1	0	1	13
	小計	2	8	5	3	7	2	4	6	5	3	0	3	48
	全焼	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	半焼	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
焼損棟数	部分焼	1	3	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	8
	ぼや	0	6	3	2	5	1	2	3	0	2	0	2	26
	小計	1	13	4	2	5	2	4	4	1	2	0	2	40
	り災世帯	1	11	3	0	3	0	4	1	1	1	0	1	26
死傷者	り災人員	1	21	4	0	8	0	8	2	3	1	0	1	49
	死者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
焼損面積等	負傷者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	焼損床面積	0	541	34	0	0	32	184	0	0	0	0	0	791
	焼損表面積	0	0	1	0	1	0	70	0	0	0	0	1	72
	車両台数	0	7	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	12
損害額(千円)		4,252	65,201	10,032	166	620	353	124,906	1,469	3,610	3,009	0	123	213,741

(2) 火災種別発生件数



(3) 覚知方法別件数



(4) 管内別火災発生件数 令和7年

区分	種別	建物	車両	その他	計
本署		7	0	3	10
南分署		14	1	1	16
北分署		11	2	9	22
計		32	3	13	48

(5) 地名別火災発生件数

令和7年

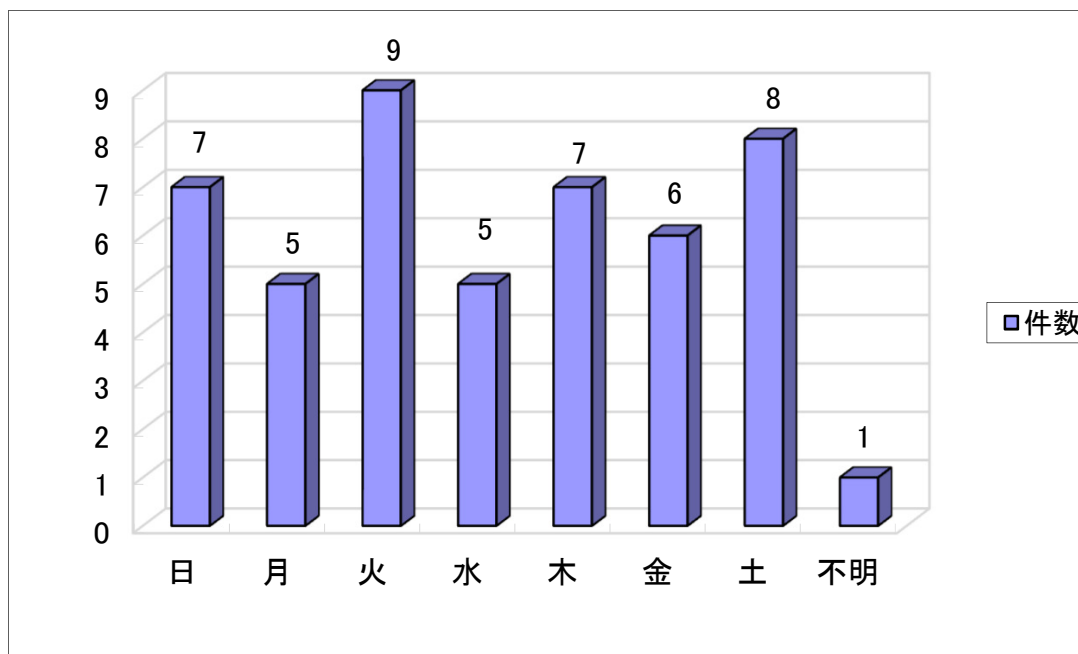
地名	種別	建物	車両	その他	計
東町		1	0	1	2
市助		0	0	0	0
泉		0	0	0	0
岩野木		0	0	0	0
インター南		1	0	0	1
後谷		0	0	0	0
采女		0	0	0	0
采女新田		0	0	0	0
大広戸		0	0	0	0
鎌倉		0	0	0	0
上口		0	0	0	0
上彦川戸		0	0	0	0
上彦名		0	0	0	0
幸房		2	0	0	2
駒形		0	0	0	0
小谷堀		0	0	0	0
栄		1	0	0	1
笹塚		0	0	1	1
さつき平		0	0	0	0
下彦川戸		0	0	0	0
新三郷ららシティ		2	0	0	2
新和		1	0	0	1
前間		0	0	0	0
高州		3	0	0	3
鷹野		3	1	0	4
田中新田		0	1	0	1
丹後		0	0	0	0
中央		4	0	2	6
天神		0	0	1	1
戸ヶ崎		5	0	0	5
仁蔵		0	0	1	1
花和田		0	0	0	0
番匠免		0	0	0	0
半田		0	0	1	1
ピアラシティ		0	0	0	0
彦糸		0	0	0	0
彦江		0	0	0	0
彦音		0	0	0	0
彦川戸		1	0	0	1
彦倉		0	0	0	0
彦沢		0	0	0	0
彦成		3	1	2	6
彦野		0	0	1	1
三郷		0	0	0	0
南蓮沼		0	0	0	0
茂田井		0	0	0	0
谷口		1	0	0	1
谷中		0	0	0	0
寄巻		0	0	0	0
早稲田		4	0	3	7
合計		32	3	13	48

(6) 出火原因別件数

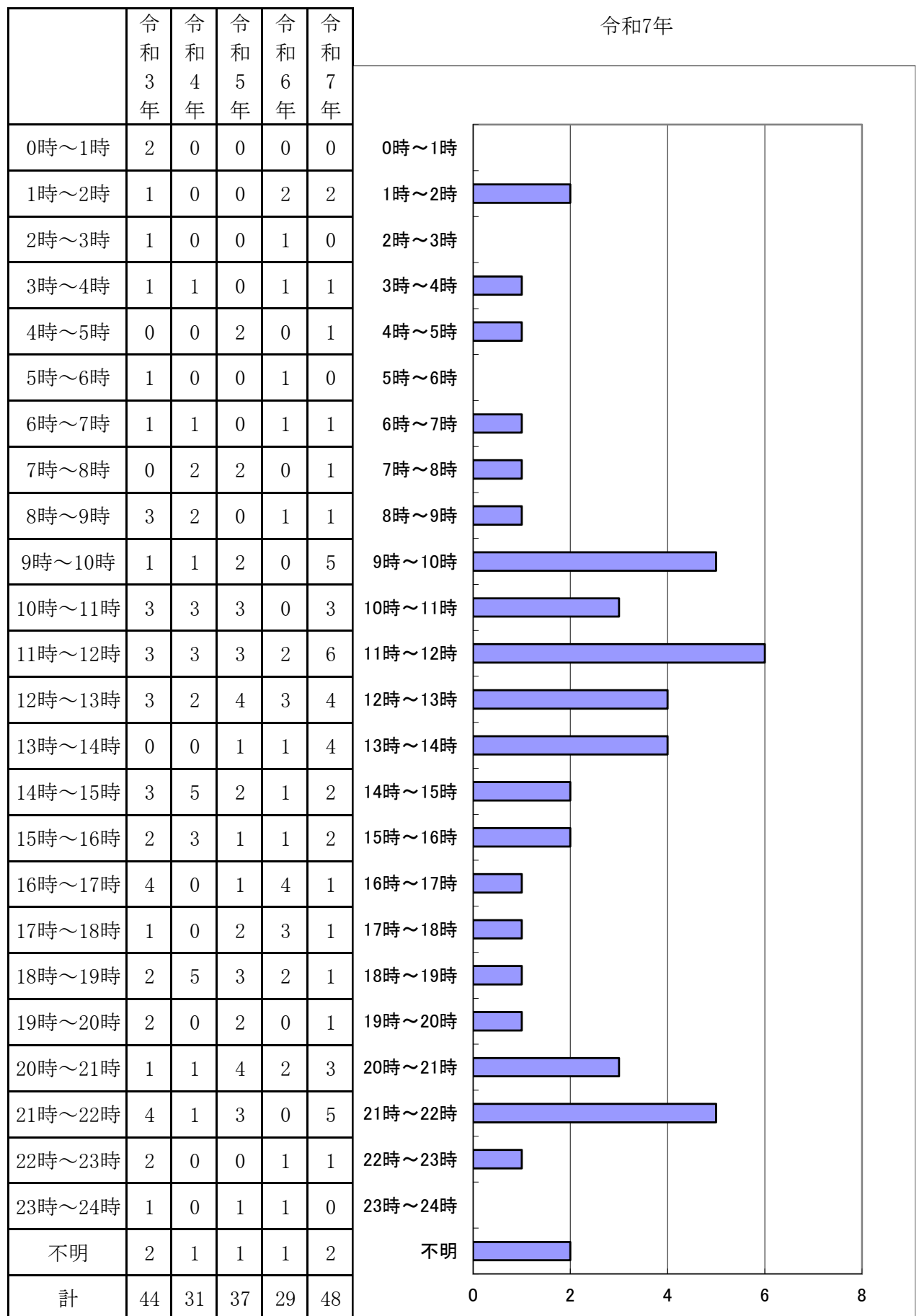
	た ば こ	火 あ そ び	た き 火	コ ン ロ	ス ト ー ブ	こ た つ	電 灯・電 話等の 配線	電 気 機 器	電 気 装 置	排 気 管	焼 却 炉	マ ッ チ・ ライ ター	放 火(疑 い含 む)	そ の 他	不 明・ 調 査 中	計
令和3年	3	1	0	3	0	0	2	3	0	3	0	1	5	10	13	44
令和4年	2	0	2	1	1	0	4	4	1	0	0	1	1	6	8	31
令和5年	6	0	0	4	0	0	0	1	1	5	0	0	3	13	4	37
令和6年	6	0	1	1	1	0	0	4	2	0	0	1	1	10	2	29
令和7年	9	0	0	2	3	0	2	3	3	0	0	3	3	17	3	48

(7) 曜日別火災発生件数

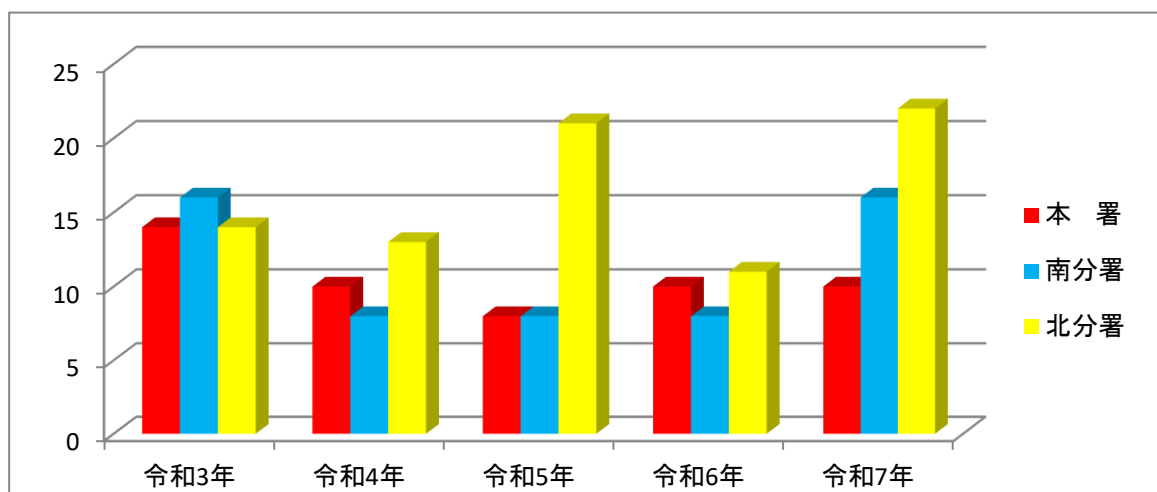
令和7年



(8) 時間帯別火災発生件数

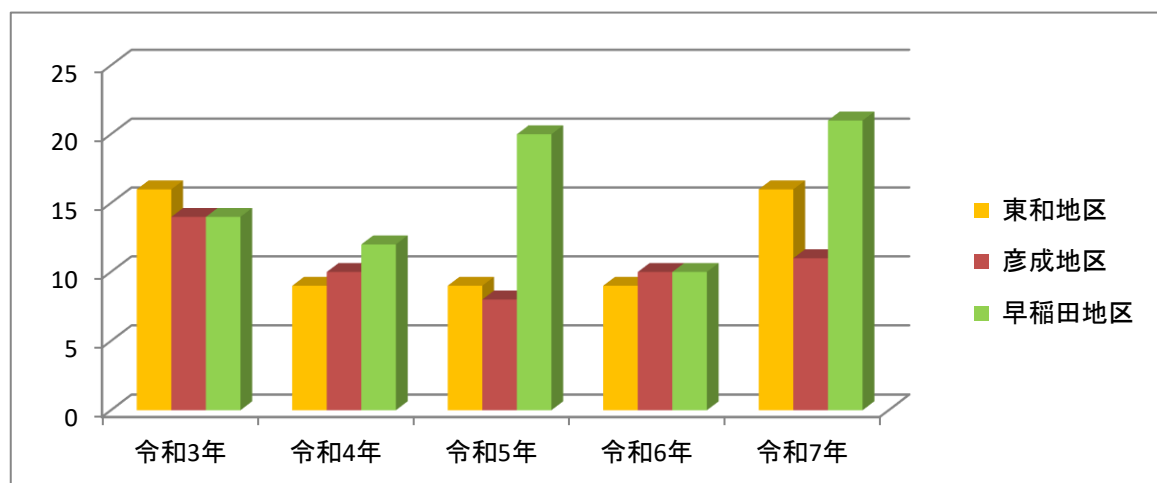


(9) 管内別火災発生件数の推移



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
本 署	14	10	8	10	10
南分署	16	8	8	8	16
北分署	14	13	21	11	22
計	44	31	37	29	48

(10) 地区別火災発生件数の推移



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
東和地区	16	9	9	9	16
彦成地区	14	10	8	10	11
早稲田地区	14	12	20	10	21
計	44	31	37	29	48

4 令和7年の火災概況（全国）

区分	令和7年 (A)		令和6年 (B)		対前年増減数 (A) - (B) = (C)
総出火件数(件)	40,783		37,141		3,642
建物火災	22,345		20,972		1,373
林野火災	1,043		831		212
車両火災	3,692		3,546		146
船舶火災	78		62		16
航空機火災	5		3		2
その他の火災	13,620		11,727		1,893
焼損棟数(棟)	31,931		29,692		2,239
り災世帯数(世帯)	19,586		18,666		920
建物焼損床面積(m ²)	999,472		991,609		7,863
建物焼損表面積(m ²)	119,748		103,563		16,185
林野焼損面積(a)	541,288		107,346		433,942
損害額(万円)	10,539,503		9,987,634		551,869
死者(人)	1,414		1,436		▲ 22
負傷者(人)	5,949		5,742		207
出火原因別	件数	構成比	件数	構成比	対前年増減数
放火	2,392	5.9%	2,377	6.4%	15
たばこ	3,479	8.5%	3,058	8.2%	421
こんろ	2,850	7.0%	2,718	7.3%	132
放火の疑い	1,649	4.0%	1,527	4.1%	122
たき火	3,303	8.1%	2,781	7.5%	522
火入れ	2,161	5.3%	1,804	4.9%	357

一日あたり

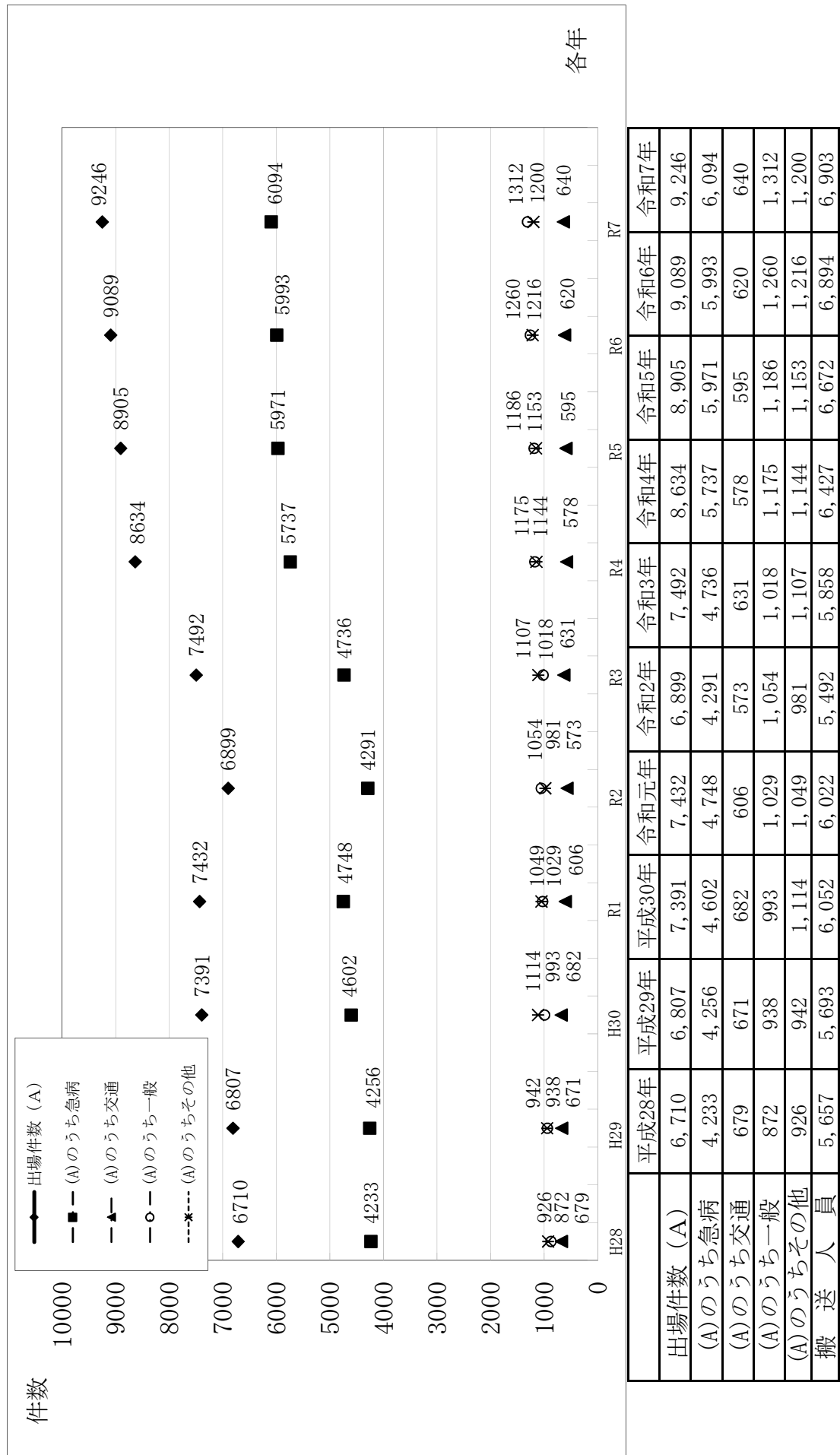
区分	令和7年	令和6年
出火件数(件)	112	101
焼損棟数(棟)	1	81
り災世帯数(世帯)	1	51
建物焼損床面積(m ²)	45	2,709
建物焼損表面積(m ²)	5	283
林野焼損面積(a)	519	293
損害額(百万円)	258	273
死者(人)	3.9	4.0
負傷者(人)	16.3	15.9

※ 令和7年の数値は概数です。令和6年の数値は確定値です。（総務省消防防災情報室データより）



1 救 急

(1) 救急出場件数の推移

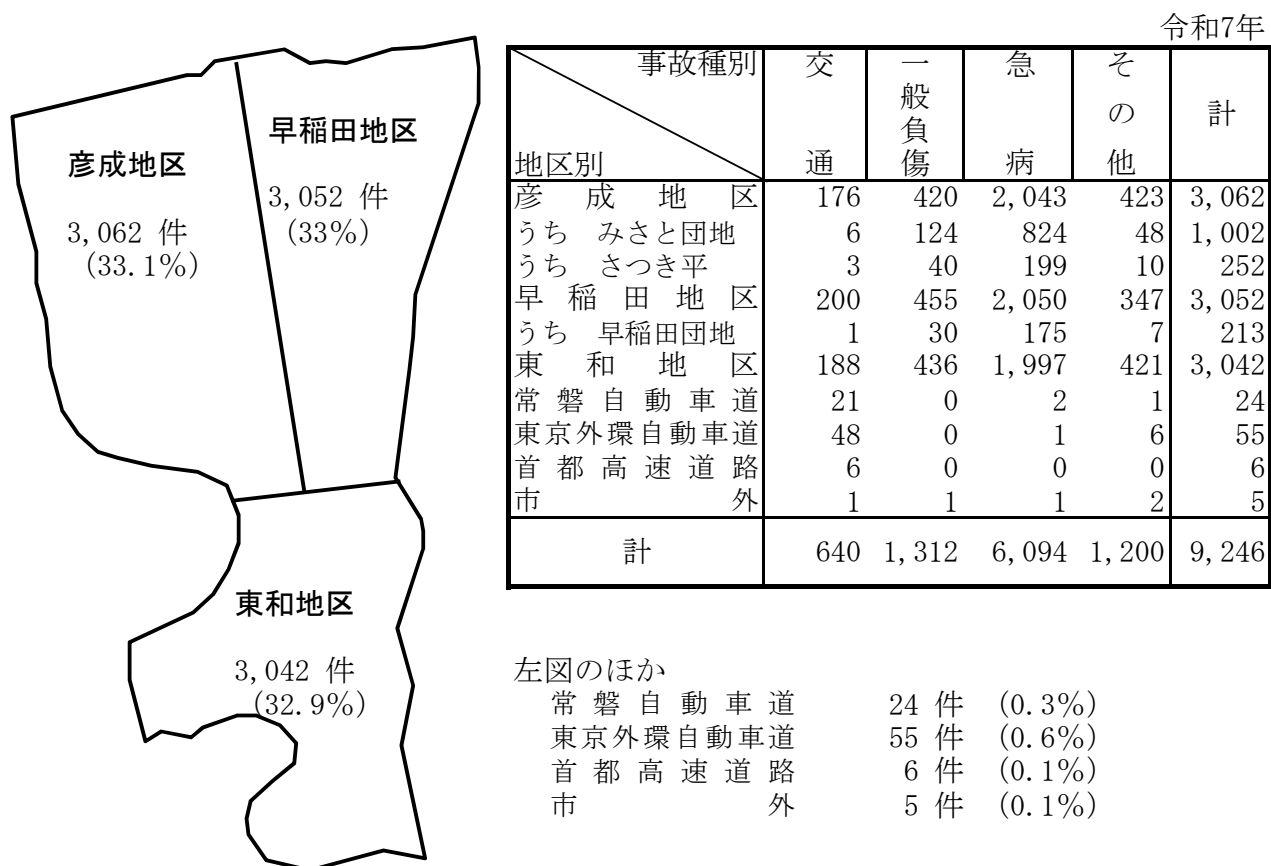


(2) 救急出場状況

令和7年

区分 曜日・月別	事故の種類										別			計	
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送		その他
月	4		2	91	9	5	208	5	18	958	100			27	1427
火	6			100	16	5	168	4	10	842	104			36	1291
水	1			106	15	3	204	4	11	869	105			37	1355
木	5		2	110	15	4	174	3	4	875	115	1		34	1342
金	6		1	94	14	4	167	3	13	862	122			29	1315
土	7		2	72	9	14	186	5	10	826	81			46	1258
日	7			67	6	30	205	8	5	862	43			25	1258
計	36		7	640	84	65	1312	32	71	6094	670	1		234	9246
1月	2			39	7	1	108	4		661	71			25	918
2月	6			45	6	6	92	3	5	510	37			14	724
3月	5			51	5	4	113	6	4	547	49			19	803
4月			2	60	5	7	98		3	410	59			18	662
5月	3		2	49	7	9	113	3	8	461	55			16	726
6月	2			63	5	6	119	3	9	506	52			22	787
7月	4			63	8	4	120		5	519	67			17	807
8月	5		1	53	9	5	99	3	7	519	50	1		20	772
9月	4			48	11	10	116	2	10	476	56			24	757
10月	2		2	62	8	4	102	4	7	459	55			21	726
11月				54	6	8	112	2	10	510	55			21	778
12月	3			53	7	1	120	2	3	516	64			17	786

(3) 地区別救急出場状況



(4) 署別救急出場状況

令和7年

事故種別 署別	交 通	一 般 負 傷	急 病	そ の 他	計	搬 送 人 員
本 署	262	434	2,000	409	3,105	2,452
南 分 署	128	296	1,339	270	2,033	1,467
北 分 署	250	582	2,755	521	4,108	2,984
計	640	1,312	6,094	1,200	9,246	6,903

(5) 時間別救急出場件数

令和7年

事故種別 時間帯	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
0時～2時	2			14	2		36	8	7	323	31	423
2時～4時	2			7	4		32	1	3	287	20	356
4時～6時	2			14			47		4	304	17	388
6時～8時	1			52	4	1	99	1	9	471	28	666
8時～10時	4		1	84	7	4	161	2	4	694	93	1,054
10時～12時	4		3	77	20	18	152	1	4	699	162	1,140
12時～14時	8			60	14	17	156	2	4	603	158	1,022
14時～16時	2		2	72	11	10	156	1	7	601	125	987
16時～18時	2			105	11	8	138		4	596	114	978
18時～20時	2			89	8	4	160	7	8	564	72	914
20時～22時	4		1	43	2	2	107		11	525	50	745
22時～24時	3			23	1	1	68	9	6	427	35	573
計	36		7	640	84	65	1,312	32	71	6,094	905	9,246

(6) 事故種別年齢区分別搬送人員

令和7年

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
新生児							1			4	26	31
乳幼児				7			58			195	18	278
少年				57		28	37		6	87	7	222
成人			1	280	65	26	171	11	26	1,272	221	2,073
高齢者	1			114	11	1	778	2	4	2,991	397	4,299
計	1		1	458	76	55	1,045	13	36	4,549	669	6,903

(7) 事故種別傷病程度別搬送人員

令和7年

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
死亡				1		1	4		3	77		86
重症				20	11	1	80	1	9	408	168	698
中等	1		1	69	18	12	342	2	11	2,311	465	3,232
軽症				366	47	41	616	10	13	1,752	36	2,881
その他				2			3			1		6
計	1		1	458	76	55	1,045	13	36	4,549	669	6,903

(8) 事故種別不搬送理由別不搬送件数

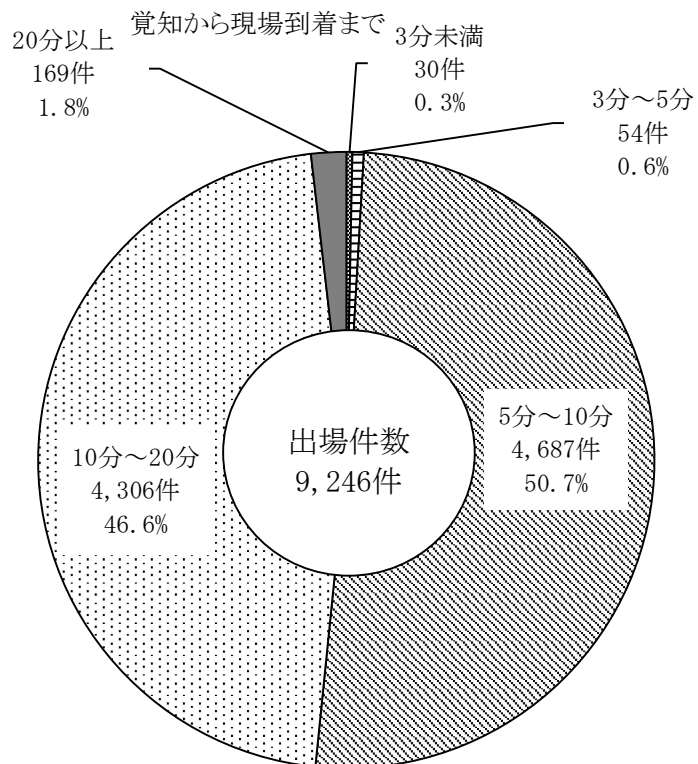
令和7年

事故種別 不搬送理由	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
辞 退（到着前）				4			3			18	3	28
辞 退（到着後）	8		1	187	8	10	238	16	20	1,270	33	1,791
拒 否				9			29	2	1	61	12	114
明らかな死亡	1		5					1	8	174	1	190
他車（隊）搬送				3						2		5
傷 病 者 な し	21			2						2	19	44
誤報・いたずら	5									1	136	142
そ の 他				3			2		6	23	33	67
計	35		6	208	8	10	272	19	35	1,551	237	2,381



救急車の適正利用をお願いいたします。

(9) 現場到着所要時間別出場件数



現 場 到 着

☆

最短所要時間 0分

現 場 到 着

☆

最長所要時間 59 分

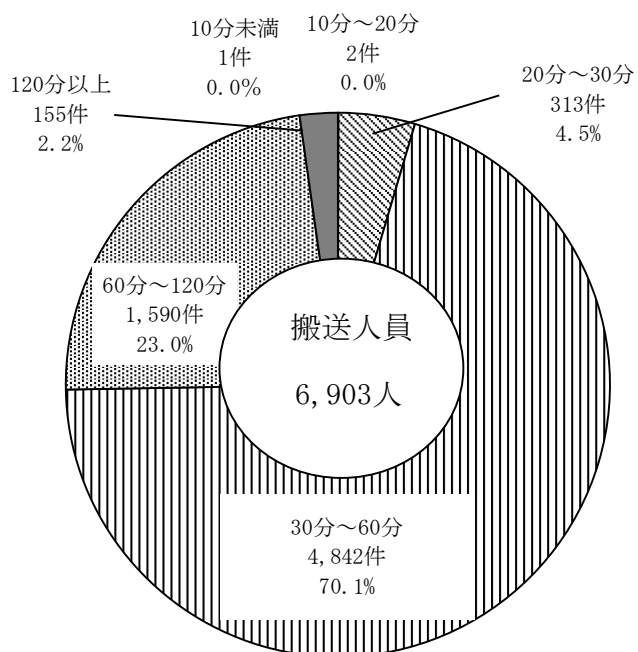
現 場 到 着

☆

平均所要時間 10.0 分

(10) 収容所要時間別搬送人員

覚知から傷病者を医療機関等に収容まで



収容所要時間

☆

最短収容時間 6 分

収容所要時間

☆

最長収容時間 451 分

収容所要時間

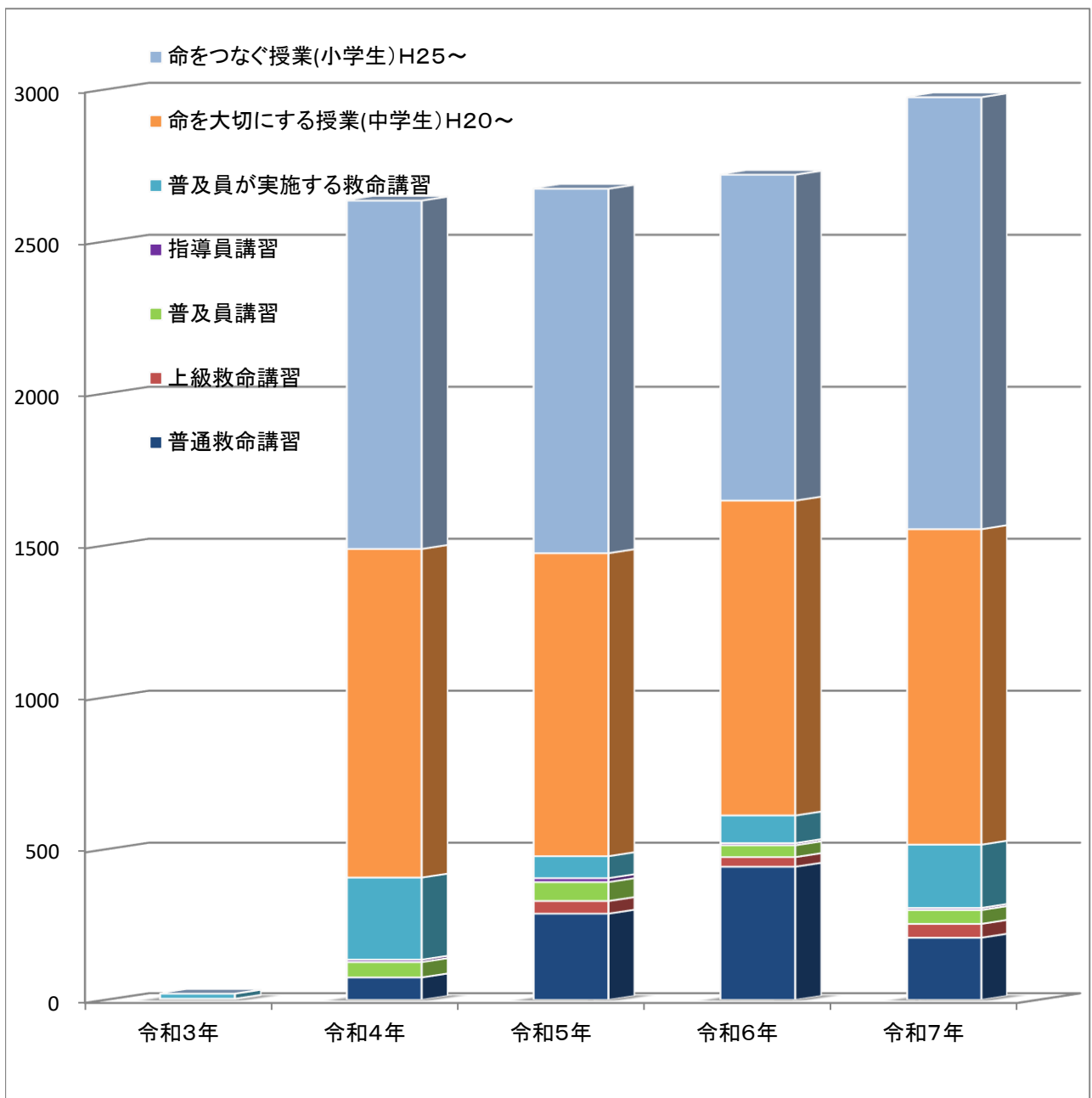
☆

平均収容時間 56.0分

(11) 応急手当講習受講者状況

応 急 手 当 講 習 受 講 者 状 況

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
普通救命講習 (入門・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	0	75	287	443	207
上級救命講習	0	0	42	32	46
普及員講習	0	51	63	39	46
指導員講習	4	8	13	7	7
普及員が実施する救命講習	17	273	73	91	210
命を大切にする授業(中学生)H20～	0	1,082	997	1,036	1,038
命をつなぐ授業(小学生)H25～	0	1,146	1,199	1,072	1,421
受講者総数	21	2,635	2,674	2,720	2,975



2 救 助

(1) 救助出動状況

令和 7 年中

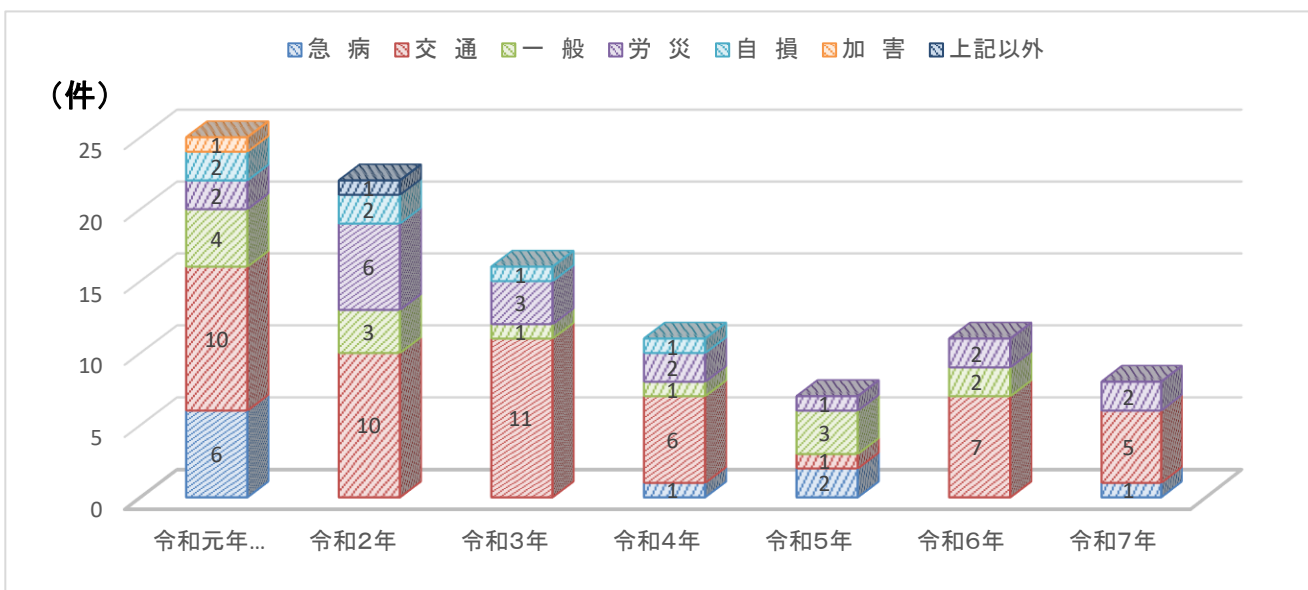
事故種別 区 分		火	災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
出 動 人 員	出 動 件 数	4[0]		25	12	0	3	47	1	0	9	101
	活 動 件 数	4[0]		10	3	0	2	43	1	0	4	67
	救 助 人 員	2[0]		15	3	0	2	26	0	0	4	52
	救 助 隊 員	20[0]		124	53	0	14	49	5	0	33	298
出 動 車 両	消 防 隊 員	68[0]		224	132	0	29	174	6	0	54	687
	救 急 隊 員	9[0]		96	36	0	9	135	3	0	27	315
	計	97[0]		444	221	0	52	358	14	0	114	1,300
	救助工作車	4[0]		25	10	0	3	10	1	0	7	60
出 動 車 両	消防ポンプ車	17[0]		44	30	0	6	48	1	0	10	156
	救急自動車	4[0]		32	12	0	3	44	1	0	9	105
	そ の 他	6[0]		25	12	0	4	9	1	0	7	64
	計	31[0]		126	64	0	16	111	4	0	33	385

[] 建物以外

(2) ドクターヘリ要請件数

ドクターヘリ要請件数（過去7年間）

事故種別	令和元年(平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
急病	6	0	0	1	2	0	1
交通	10	10	11	6	1	7	5
一般	4	3	1	1	3	2	0
労災	2	6	3	2	1	2	2
自損	2	2	1	1	0	0	0
加害	1	0	0	0	0	0	0
上記以外	0	1	0	0	0	0	0
合 計	25	22	16	11	7	11	8



(3) 救急支援出場件数

救急支援出場件数（過去7年間）

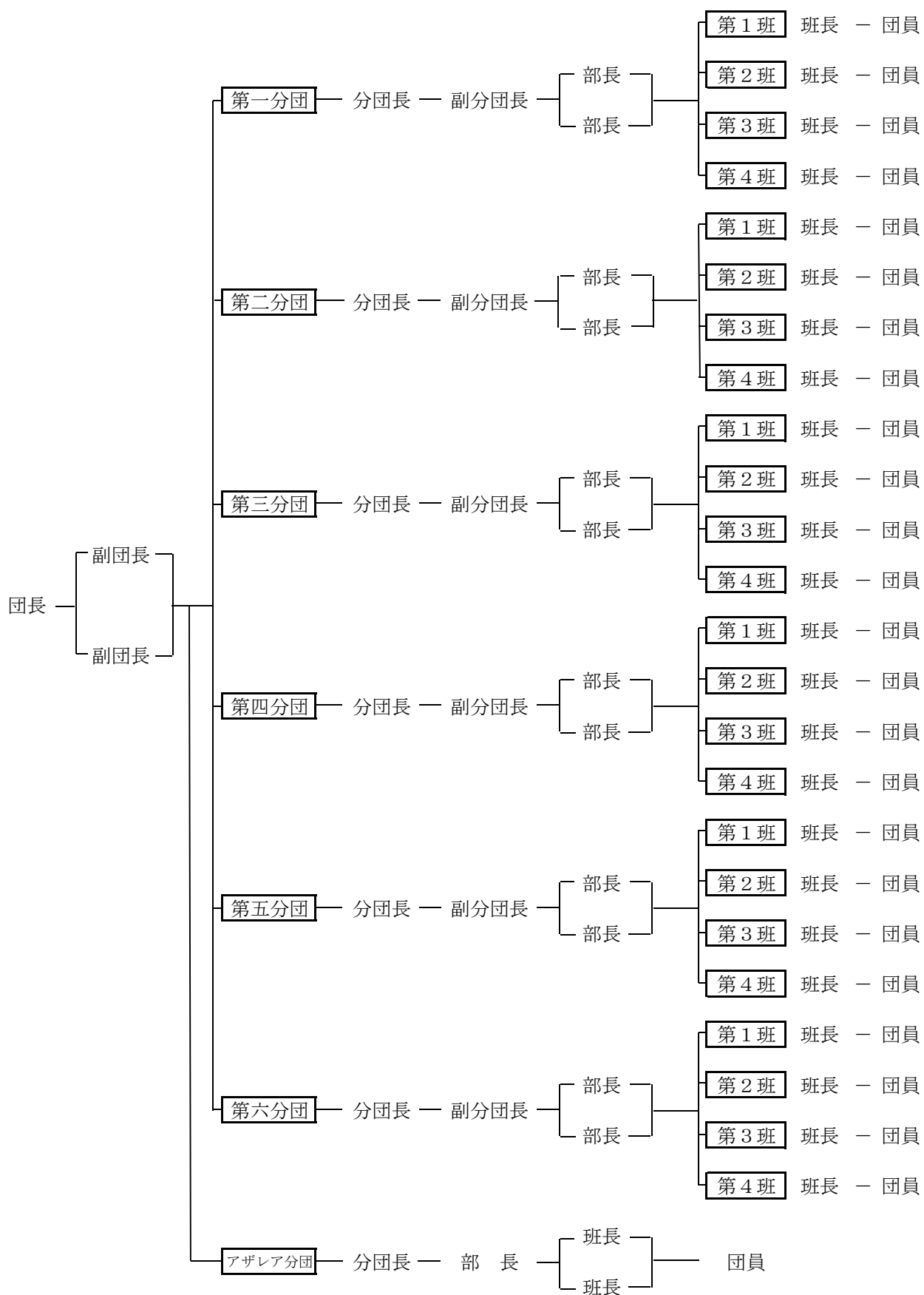
※管内別

事故種別	令和元年(平成31年中)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
合 計	1,377	1,262	1,202	1,182	1,303	1,284	1,247
本 署	287	320	285	260	311	309	263
南分署	454	362	367	352	392	389	388
北分署	636	580	550	570	600	586	596

注：救急支援出場・・・救急支援出場とは、消防車と救急車が同時に救急現場へ出動すること又は救急隊全隊が出動した際、消防車が先行して出動することです。
救急車内への収容補助・応急処置・交通事故現場での救急活動スペース確保など救命率向上・被害の軽減を目的としています。



1 消防団組織図



2 団 員

(1) 分団別階級別の消防団員数

令和8年4月1日現在

分団及び班等		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団 本 部		1	2						3
アザレア分団				(1)		(1)	(2)	(7)	(11)
第一分団	第1班				1		1	10	44
	第2班					1	1	8	
	第3班			1			1	10	
	第4班					1	1	8	
第二分団	第1班			1			1	12	45
	第2班				1		1	10	
	第3班					1	1	7	
	第4班					1	1	8	
第三分団	第1班			1			1	8	36
	第2班					1	1	7	
	第3班				1		1	7	
	第4班					1	1	6	
第四分団	第1班					1	1	5	39
	第2班			1			1	9	
	第3班					1	1	8	
	第4班				1		1	9	
第五分団	第1班				1		1	11	54
	第2班					1	1	11	
	第3班					1	1	12	
	第4班			1			1	12	
第六分団	第1班			1			1	10	50
	第2班				1		1	10	
	第3班					1	1	13	
	第4班					1	1	9	
合計		1	2	7(1)	6	13(1)	26(2)	227(7)	282(11)

() は女性団員

(2) 団員 1 人当たりと市民の割合

各年 4 月 1 日現在

区分 年	世 帯	人 口	消防団員数	消防団員 1 人に対する	
				世 帯	人 口
平成 31 年	64,102	141,765	316	203	449
令和 2 年	65,195	142,591	311	210	458
令和 3 年	66,168	142,663	309	214	462
令和 4 年	66,752	142,758	307	217	465
令和 5 年	67,220	142,177	298	226	477
令和 6 年	68,036	141,935	286	238	496
令和 7 年	68,886	142,041	289	238	491
令和 8 年	69,673	141,746	282	247	503

(3) 団員の年齢別

令和 8 年 4 月 1 日現在

区分 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
20 歳 未 満								
20 歳～24 歳						(1)	12(2)	15(3)
25 歳～29 歳							8	8
30 歳～34 歳						1	2	3
35 歳～39 歳						1	20	21
40 歳～44 歳					4	6	34(1)	45(1)
45 歳～49 歳				2	1	5	42(1)	51(1)
50 歳～54 歳			3		5	6	50(2)	66(2)
55 歳～59 歳			(1)	3	(1)	4(1)	26(1)	37(4)
60 歳 以 上	1	2	3	1	2	1	26	36
合 計	1	2	7(1)	6	13(1)	26(2)	227(7)	282(11)
平 均	68.0	65.5	58.7	54.8	51.8	48.0	47.2	48.2

() は女性団員

(4) 団員の勤続年数

令和8年4月1日現在

階級 \ 年数	5 年 未 満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上	計
団 長						1		1
副 団 長						1	1	2
分 団 長			1	(1)	3	1	1	7 (1)
副分団長			1		2	2	1	6
部 長	1	1	4	1 (1)	3		2	13 (1)
班 長	(1)	6	7	6 (1)	2	1	2	26 (2)
団 員	56 (6)	49	26	30	28 (1)	21	10	227 (7)
合 計	64 (7)	56	39	40 (3)	39 (1)	27	17	282 (11)

() は女性団員

(5) 団員の退職報償金の額

令和8年4月1日現在 (単位：円)

階級 \ 勤務年数	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上 35 年未満	35 年以上
団 長	239, 000	344, 000	459, 000	594, 000	779, 000	979, 000	1, 079, 000
副団長	229, 000	329, 000	429, 000	534, 000	709, 000	909, 000	1, 009, 000
分団長	219, 000	318, 000	413, 000	513, 000	659, 000	849, 000	949, 000
副分団長	214, 000	303, 000	388, 000	478, 000	624, 000	809, 000	909, 000
部長及び班長	204, 000	283, 000	358, 000	438, 000	564, 000	734, 000	834, 000
団 員	200, 000	264, 000	334, 000	409, 000	519, 000	689, 000	789, 000

(6) 団員年額報酬及び出務報酬の額

令和8年4月1日現在 (単位：円)

区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報酬額 (年額)	182, 500	140, 000	109, 000	88, 000	71, 000	64, 500	56, 500
火災・その他の災害 の出務 (報酬額・日額)	4 時間未満の活動 4, 000/ 4 時間以上の活動 8, 000						
警戒の出務 (報酬 額・日額)	4 時間未満の活動 4, 000/ 4 時間以上の活動 8, 000						
訓練等の出務 (報 酬額・日額)	2, 400						

3 消防団の装備及び施設

(1) 分団・班別の消防車両

令和8年4月1日現在

分団及び班		種 別	型 式	車 両 番 号	初 年 度 登 録	ポ ン プ 級 別
第一分団	第1班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG-NHS85A	春日部 830 に 101	平成28年 2月	B-2
	第2班	小型全自動消防自動車	いすゞ 2RG-NHS88A	春日部 830 な 102	令和2年 3月	B-2
	第3班	各種災害対応機動車	いすゞ BKG-NHS85A	春日部 830 せ 103	平成22年 11月	B-2
	第4班	各種災害対応機動車	三菱 PDG-FD70B	春日部 830 せ 104	平成20年 3月	B-2
第二分団	第1班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE-FB500B	春日部 800 さ 7419	平成14年 11月	B-2
	第2班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE-FB500B	春日部 800 さ 7418	平成14年 11月	B-2
	第3班	小型全自動消防自動車	日野 TKG-XZC645M	春日部 830 せ 203	平成25年 3月	B-2
	第4班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG-NHS85A	春日部 830 せ 204	平成29年 2月	B-2
第三分団	第1班	各種災害対応機動車	三菱 PDG-FD70B	春日部 830 そ 301	平成21年 2月	B-2
	第2班	小型全自動消防自動車	日野 BDG-XZU538M	春日部 830 せ 302	平成22年 2月	B-2
	第3班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE-FB500B	春日部 800 さ 7420	平成14年 11月	B-2
	第4班	小型動力ポンプ付積載車	いすゞ 2RG-NHS88A	春日部 830 そ 304	令和3年 2月	B-2
第四分団	第1班	救助資機材搭載型車両	ニッサン PDG-SZ5F24	春日部 800 す 5016	平成22年 3月	B-2
	第2班	小型全自動消防自動車	日野 BDG-XZU538M	春日部 830 さ 3119	平成22年 2月	B-2
	第3班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 UC-FB700B	春日部 800 さ 9161	平成15年 11月	B-2
	第4班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG-NHS85A	春日部 830 す 404	平成28年 2月	B-2
第五分団	第1班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG-NHS85A	春日部 830 せ 501	平成29年 2月	B-2
	第2班	各種災害対応機動車	いすゞ BKG-NHS85A	春日部 830 す 502	平成22年 11月	B-2
	第3班	各種災害対応機動車	いすゞ TPG-NHS85A	春日部 830 す 503	平成28年 2月	B-2
	第4班	小型全自動消防自動車	日野 BDG-XZU538M	春日部 830 さ 504	平成20年 3月	B-2
第六分団	第1班	小型全自動消防自動車	日野 BDG-XZU538M	春日部 830 さ 601	平成20年 3月	B-2
	第2班	小型動力ポンプ付積載車	いすゞ 2RG-NHS88A	春日部 830 す 602	令和3年 2月	B-2
	第3班	小型動力ポンプ付積載車	三菱 GE-FB500B	春日部 800 さ 7421	平成14年 11月	B-2
	第4班	各種災害対応機動車	いすゞ BKG-NHS85A	春日部 830 さ 604	平成22年 11月	B-2

(2) 分団・班別機械器具置場の概要

令和 8 年 4 月 1 日現在

分団及び班		所 在 地	建 物		
			構 造	面積(m ²)	建 築 年 月
第 一 分 団	第 1 班	半 田 2 9 8 - 2	鉄 骨 造 2 階 建	55.80	平成 17 年 3 月
	第 2 班	後 谷 2 9 2 - 1	木 造 2 階 建	68.30	平成 23 年 4 月
	第 3 班	早稲田 8 - 1 7 - 1 0	木 造 2 階 建	71.45	平成 27 年 3 月
	第 4 班	早稲田 3 - 2 8 - 1 1	鉄 骨 造 2 階 建	61.20	平成 19 年 3 月
第 二 分 団	第 1 班	南蓮沼 7 4 7 - 1	鉄骨ルーフデッキ葺2階建	40.00	昭和 61 年 4 月
	第 2 班	早稲田 4 - 2 4 - 3	鉄骨ルーフデッキ葺平家建	43.00	昭和 62 年 3 月
	第 3 班	茂田井 7 0 7 - 1	木 造 2 階 建	62.24	平成 31 年 3 月
	第 4 班	岩野木 1 1 9	木 造 2 階 建	66.24	平成 30 年 4 月
第 三 分 団	第 1 班	新 和 1 - 4 4 0	鉄 骨 造 平 家 建	43.74	平成 5 年 3 月
	第 2 班	高 州 1 - 1	鉄 骨 造 2 階 建	55.00	平成 15 年 11 月
	第 3 班	高 州 2 - 3 9 5 - 1	木 造 2 階 建	66.24	平成 26 年 4 月
	第 4 班	高 州 3 - 3 2	木 造 2 階 建	66.24	令和 4 年 2 月
第 四 分 団	第 1 班	鷹 野 5 - 4 2 9	木 造 2 階 建	62.00	平成 29 年 3 月
	第 2 班	戸ヶ崎 4 - 2 8 0 - 1	鉄 骨 造 2 階 建	71.50	平成 21 年 3 月
	第 3 班	戸ヶ崎 3 - 2 6 6 - 3	木 造 2 階 建	65.60	令和 7 年 2 月
	第 4 班	栄 1 - 2 4 6 - 3	鉄 骨 造 2 階 建	41.16	平成 15 年 3 月
第 五 分 団	第 1 班	花和田 1 2 2 - 1	木 造 2 階 建	66.24	平成 28 年 3 月
	第 2 班	彦 江 1 - 1 5 2	木 造 2 階 建	62.10	平成 23 年 4 月
	第 3 班	番匠免 1 - 3 4 - 3	木 造 2 階 建	70.00	平成 25 年 3 月
	第 4 班	彦 倉 1 - 6 0	木 造 2 階 建	66.00	平成 24 年 4 月
第 六 分 団	第 1 班	彦川戸 1 - 1 3 5	鉄 骨 造 2 階 建	66.00	平成 20 年 8 月
	第 2 班	彦 成 1 - 3 9 5 - 1	木 造 2 階 建	62.24	令和 2 年 3 月
	第 3 班	彦 糸 1 - 5 2	木 造 2 階 建	62.24	令和 5 年 3 月
	第 4 班	采 女 1 - 1 0 9 - 2	木 造 2 階 建	63.76	平成 22 年 5 月

三郷市消防団機械器具置場配置図





1 少年消防クラブの概要

(1) 目的

クラブ活動を通じて消防・防災について学習し、正しい知識と技能を修得し、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、規律や防火マナー等を身につける消防防災教育を行い、クラブ員を通じて家庭及び地域の防火・防災意識の高揚を図り、将来の地域防災の担い手となる人材育成を目的とする。

(2) 少年消防クラブの沿革

平成23年	4月	平成23年4月1日に三郷市少年消防クラブが発足する。
	〃	1期生32名が入団する。
	〃	三郷市少年消防クラブ初代会長に安晝和己氏就任。
	〃	財団法人 日本消防協会 少年消防クラブ活性化推進会議によるモデル少年消防クラブに選ばれる。
	〃	少年消防クラブ活性化推進会議より、クラブ帽子・ヘルメット・活動服の助成を受ける。
	11月	規約を改正し、団員の資格を中学3年生までとする。
平成24年	3月	コミュニティ助成事業により、団員用防火衣一式・広報用資器材一式を整備する。
	4月	2期生19名が入団し、45名となる。
	8月	総務省消防庁主催の岩手県で開催された、少年消防クラブ交流会合同訓練において1位となる。
平成25年	4月	3期生22名が入団し、59名となる。
	10月	コミュニティ助成事業により、軽可搬ポンプ一式・テント3張りを整備する。
	11月	消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京ドーム）にクラブ員5名が放水演技を披露し48名が参加する。
平成26年	4月	三郷市少年消防クラブ2代目会長に南部正彦氏が就任。 4期生18名が入団し、70名となる。
	8月	消防団を中核とした地域防災力充実強化大会（東京国際フォーラム）において、活動発表及びポンプ操法を披露する。
平成27年	2月	規約を改正し、団員の資格を高校3年生とし、高校生団員を準指導者とする。
	3月	平成26年度優良少年消防クラブ表彰（消防庁長官賞）を受賞する。
	4月	5期生25名が入団し、86名となる。
	7月	第20回ヨーロッパ青少年消防オリンピック（ポーランド共和国オポーレ市）にクラブ員5名を派遣。
	8月	総務省消防庁主催の徳島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において1位となる。

	9月	コミュニティ助成事業により、放送設備一式・防火水槽を整備する。
平成28年	4月	6期生25名が入団し、98名となる。
	8月	総務省消防庁主催の宮城県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において2位となる。
	9月	コミュニティ助成事業により、心肺蘇生訓練用人形9体とAEDトレーナー9器を整備する。
平成29年	4月	三郷市少年消防クラブ3代目会長に野本浩氏が就任。 7期生23名が入団し、114名となる。
	8月	総務省消防庁主催の徳島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において1位となる。
	3月	平成29年度特に優良な少年消防クラブ表彰（総務大臣表彰）を受賞する。
平成30年	4月	8期生22名が入団し、116名となる。
	8月	総務省消防庁主催の千葉県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において2位となる。
	10月	内閣府等が主催する、東京都のそなエリアで開催された「ぼうさいこくたい2018セッション」において、活動発表を行う。
	4月	9期生27名が入団し、118名となる。
平成31年	8月	総務省消防庁主催の徳島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において5位となる。
令和元年	4月	三郷市少年消防クラブ4代目会長に浅香一雄氏が就任。 10期生26名が入団し、124名となる。
令和2年	4月	11期生10名が入団し、109名となる。
令和3年	4月	12期生28名が入団し、109名となる
令和4年	4月	三郷市少年消防クラブ5代目会長に山本浩文氏が就任。 13期生25名が入団し、104名となる。
令和5年	9月	総務省消防庁主催の鳥取県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において1位となる。
	4月	14期生19名が入団し、111名となる。
	7月	第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピック（イタリア共和国トランティーノ）にクラブ員5名を派遣。
令和6年	9月	総務省消防庁主催の兵庫県で開催された、少年消防クラブ交流会(全国大会)に参加し、合同訓練において1位となる。
	3月	令和6年度、2度目の特に優良な少年消防クラブ表彰（総務大臣表彰）を受賞する。
	4月	15期生30名が入団し、120名となる。
	9月	総務省消防庁主催の広島県で開催された、少年消防クラブ交流会（全国大会）に参加し、合同訓練において5位となる。

令和8年	4月	三郷市少年消防クラブ6代目会長に三浦徹氏が就任。
	4月	16期生17名が入団し、116名となる。

2 少年消防クラブの団員状況

(1) 年度別入団員数

各年度 4 月 1 日現在

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
小学 5 年生	23 (9)	21 (6)	11 (3)	21 (3)	13 (5)
小学 6 年生	5 (3)	4 (2)	8 (2)	9 (1)	4 (2)
合 計	28 (12)	25 (8)	19 (5)	30 (4)	17 (7)

※ () は女子

(2) 年度別在籍数

各年度 4 月 1 日現在

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
小学 5 年生	23 (9)	21 (6)	11 (3)	21 (3)	13 (5)
小学 6 年生	14 (6)	25 (11)	29 (8)	20 (4)	22 (5)
中学 1 年生	21 (6)	12 (5)	23 (10)	26 (6)	17 (3)
中学 2 年生	13 (6)	19 (6)	10 (5)	19 (8)	25 (6)
中学 3 年生	15 (7)	11 (6)	17 (5)	9 (4)	18 (8)
高校 1 年生	7 (3)	7 (4)	10 (6)	9 (3)	6 (2)
高校 2 年生	6 (2)	5 (3)	7 (4)	9 (5)	8 (2)
高校 3 年生	10 (4)	4 (1)	4 (3)	7 (4)	7 (3)
合 計	109 (43)	104 (42)	111 (44)	120 (37)	116 (34)

※ () は女子

(3) 少年消防クラブ員在籍状況

令和 8 年 4 月 1 日現在

学年 期生	小学生		中学生			高校生			合 計
	5 年生	6 年生	1 年生	2 年生	3 年生	1 年生	2 年生	3 年生	
9 期生								6 (3)	6 (3)
10 期生							8 (2)	1	9 (2)
11 期生						4 (1)			4 (1)
12 期生					14 (6)	2 (1)			16 (7)
13 期生				19 (4)	4 (2)				23 (6)
14 期生			9 (2)	6 (2)					15 (4)
15 期生		18 (3)	8 (1)						26 (4)
16 期生	13 (5)	4 (2)							17 (7)
合 計	13 (5)	22 (5)	17 (3)	25 (6)	18 (8)	6 (2)	8 (2)	7 (3)	116 (34)

※ () は女子

(4) 小学校別クラブ員在籍状況

令和8年4月1日現在

小学校名	5年生	6年生	合 計
新和小学校	6 (1)	11 (2)	17 (3)
幸房小学校	0	3	3
丹後小学校	2 (2)	1	3 (2)
八木郷小学校	0	0	0
前間小学校	0	2 (2)	2 (2)
高州小学校	1	0	1
立花小学校	0	1	1
彦糸小学校	0	1	1
彦成小学校	3 (1)	2 (2)	5 (3)
前谷小学校	1 (1)	0	1 (1)
瑞木小学校	0	0	0
市外の小学校	0	1	1
合 計	13 (5)	22 (5)	35 (10)

※ () は女子

(5) 中学校別クラブ員在籍状況

令和8年4月1日現在

中学校名	1年生	2年生	3年生	合 計
北中学校	1	4	3 (2)	8 (3)
栄中学校	4	9 (4)	11 (5)	24 (9)
彦糸中学校	0	0	0	0
彦成中学校	0	1	0	1
前川中学校	0	0	0	0
瑞穂中学校	1	1	2 (1)	4 (1)
南中学校	4	1	0	5
早稲田中学校	7 (3)	6 (1)	1	14 (4)
市外の中学校	0	3 (1)	1	4 (1)
合 計	17 (3)	25 (6)	18 (8)	60 (17)

※ () は女子

(6) 高校生クラブ員在籍状況

令和8年4月1日現在

	1年生	2年生	3年生	合 計
合 計	6 (2)	8 (2)	7 (3)	21 (7)

※ () は女子

3 令和7年度 少年消防クラブの年間活動概要

開催月	行事	内容
4月	三郷市少年消防クラブ入団式	クラブ員手帳の交付・卒団員表彰
5月	消防基本訓練	規律訓練等
7月	3デイズ（消防体験学習）	規律訓練・放水体験・救助体験・災害図上訓練・救命講習
9月	全国少年消防クラブ交流大会	広島県 消防資機材を使用したリレー・障害物競走 全国のクラブ員と交流及び避難所体験等
9月	救急フェスタ【不参加】	親子で救命入門コースを受講
9月	三郷市総合防災訓練	参加者と協力し、共助を学ぶ
11月	消防フェア	防火広報及び活動報告
1月	三郷市消防出初式事前訓練	出初式参加に向けての訓練
1月	三郷市消防出初式	市民に訓練成果を披露
3月	県外研修	東京都 そなエリア東京にて、防災知識について学ぶ。

三郷市少年消防クラブ活動風景

青少年消防オリンピック出場



消防体験学習（3デイズ）



令和6年度全国交流大会優勝！



青少年消防オリンピックに伴う県知事訪問



県外研修



出初式



市民の安全と安心をめざして



三郷市マスコットキャラクター

かいふ
ちゃん & ちゃん

編集 三郷市消防本部消防総務課
住所 〒341-0038
埼玉県三郷市中央 5-45-4
電話 (048) 952-1211 (代表)
FAX (048) 952-5568

ホームページアドレス

<https://www.city.misato.lg.jp/soshiki/syobo/index.html>

電子メールアドレス

shobo@city.misato.lg.jp





© みさと 2009